

令和元年度 第2回市立公民館運営審議会

令和2年 2月20日(木)
午前9時30分～
市民交流プラザ3-2・3-3会議室

次 第

開 会

挨拶 教育長

議 事

- 1 令和元年度市立公民館の事業等について
- 2 委員の公募について
- 3 その他

閉 会

-
- 《資料》
- ・社会教育法、福知山市公民館条例施行規則【抜粋】
 - ・令和元年度 市立公民館事業実施の実績報告と総括

公民館運営審議会関連法規【抜粋】

○社会教育法

(公民館運営審議会)

第29条 公民館に公民館運営審議会を置くことができる。

2 公民館運営審議会は、館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するものとする。

第30条 市町村の設置する公民館にあつては、公民館運営審議会の委員は、当該市町村の教育委員会が委嘱する。

2 前項の公民館運営審議会の委員の委嘱の基準、定数及び任期その他当該公民館運営審議会に関し必要な事項は、当該市町村の条例で定める。この場合において、委員の委嘱の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

第31条 法人の設置する公民館に公民館運営審議会を置く場合にあつては、その委員は、当該法人の役員をもつて充てるものとする。

○公民館運営審議会の委員の委嘱の基準を条例で定めるに当たって参酌すべき基準を定める省令(平成23年12月1日文部科学省令第42号)

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律(平成23年法律第105号)の一部の施行に伴い、及び社会教育法(昭和24年法律第207号)第三十条第二項の規定に基づき、公民館運営審議会の委員の委嘱の基準を条例で定めるに当たって参酌すべき基準を定める省令を次のように定める。

社会教育法第30条第2項の文部科学省令で定める基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から委嘱することとする。

○福知山市立公民館条例(昭和51年4月1日条例第4号)

(公民館運営審議会)

第3条 公民館に法第29条第1項の規定に基づき、公民館運営審議会を置く。

2 公民館運営審議会委員(以下「委員」という。)の定数は、20人以内とする。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 公職又は団体代表の地位にあつたため委嘱された委員の任期は、前項の規定にかかわらずその地位を退いたときをもって終わる。

○福知山市立公民館条例施行規則(昭和51年3月31日教育委員会規則第5号)

(公民館運営審議会)

第4条 公民館運営審議会(以下「運営審議会」という。)に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選とする。

3 委員長及び副委員長の任期は、2年とする。ただし、再選することができる。

4 委員長は、運営審議会を代表し、会務を総理する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

第5条 運営審議会の会議は、定例会及び臨時会とし、委員長が招集する。

(1) 定例会は、原則として単年度2回開催する。

(2) 臨時会は、必要に応じて開催する。

令和元年度
第2回福知山市立公民館運営審議会

資 料

福知山市立公民館

令和元年度 福知山市立公民館運営審議会委員名簿

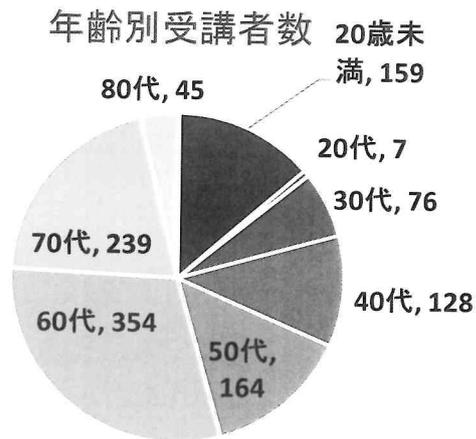
(敬称略)

氏 名	選 出 団 体 等	備 考
ほそたに けいじ 細谷 恵滋	市立学校校長会	
おおつき ひろし 大槻 紘	(公社)福知山市文化協会	副委員長
あしだ えみこ 蘆田 恵美子	(一財)福知山市スポーツ協会	
おおやま ひろし 大山 博司	福知山市PTA連絡協議会	
いのうえ よみこ 井上 代美子	福知山市連合婦人会	
うえはら まこと 上原 誠	福知山市子ども会指導者連絡協議会	
おぎの なおみ 荻野 直美	福知山市社会教育委員会議	
よしづみ さとみ 善積 里美	福知山市立図書館協議会	
はま ともひろ 濱 友啓	福知山市公民館連絡協議会	
まさき よしみ 正木 好美	川口地域公民館運営協議会	
ど て たかはる 土手 隆晴	日新地域公民館運営協議会	
おはら あきのり 小原 彰紀	北陵地域公民館運営協議会	
あしだ よしたか 芦田 義孝	六人部地域公民館運営協議会	
すがはら よしお 菅原 芳夫	成和地域公民館運営協議会	
いでの ときお 出野 都喜夫	三和地域公民館運営協議会	
さこお みつる 岨尾 充	夜久野地域公民館運営協議会	
あらい けんじろう 新井 健二郎	大江地域公民館連絡協議会	
おおしま まさのり 大嶋 正徳	桃映地域公民館運営協議会	委員長

計 18名

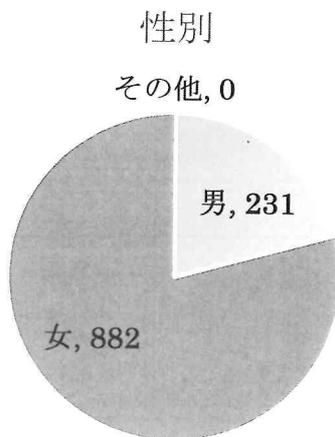
任期 平成30年7月27日から
令和 2年7月26日まで

公民館講座・教室参加者アンケート全体まとめ



60代以上が過半数を占めている。
20歳未満の参加者は児童生徒を対象とした講座である。
親子対象講座では30代の参加があるが、それ以外では少ない。

■ 20歳未満 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代



女性が3/4以上を占める。
児童・生徒対象講座を除くと
女性の比率はさらに大きくなった。

男 ■ 女 ■ その他

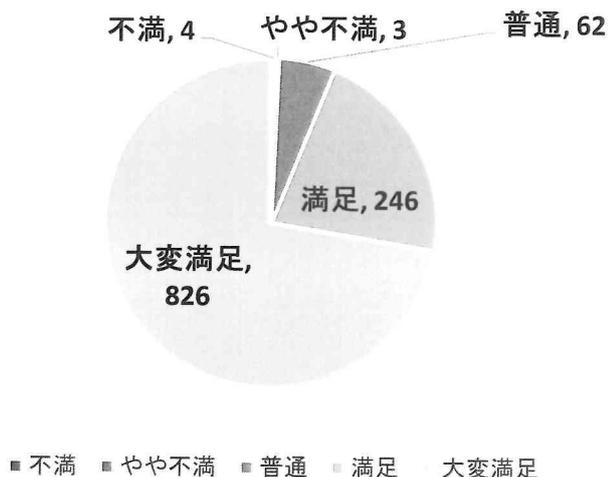
初回・複数回別



講座が初めての方は約30%で
リピーターが70%であった。
少なくとも335人が新たな公民館
利用者となった。

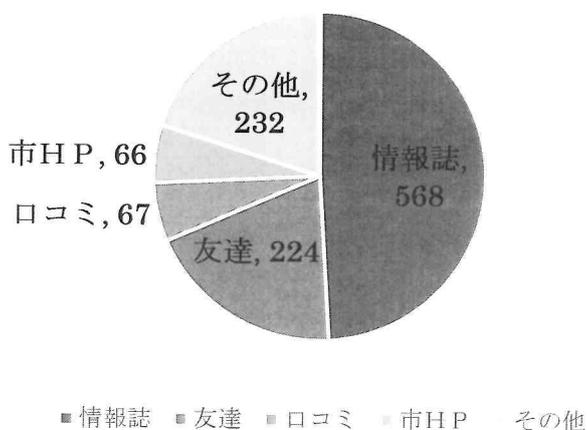
■ 初回 ■ 複数回

講座満足度（平均4.65）



講座・教室の参加者の満足度は性別、年齢に関わらず高かった。不満に思われた方は、講座・教室の内容（レベル）が想像と乖離していたことが原因であると自由記述から感じられた。

情報入手方法



情報誌は年度当初に自治会を通じて各戸配布で発行する「学ぶ楽しさ、活かす喜び」をイメージした設問であったが、各地域公民館発行の公民館だよりやチラシに関しても「情報誌」として回答された可能性がある。また、市のホームページに掲載していない講座・教室参加者より「市HP」との回答も見受けられた。

各館では、新聞掲載や、区域内有線等活用し講座・教室の広報を実施している。

これら状況を踏まえ、選択内容について見直すとともに、広報手法についても工夫し、より多くの方に情報を伝えられる効果的な手法について検討する。

1 令和元年度事業（取組）の重点

(1) 笑顔あふれる公民館活動の推進

いつでも・だれでも・どこでも・楽しく学ぶことができる様々な学習機会と学習情報を提供し、生涯学習講座等を通じて地域や世代を超えた交流を深め、活動の輪が広がっていくよう推進する。

(2) 地域全体で子どもを育む環境づくりの推進

地域社会との交流の場の提供や様々な体験学習を通して、次代を担う子どもたちが、家族や地域のぬくもりを感じつつ、人として思いやりあふれる豊かな心と創造性を培い、育んでいくための青少年健全育成事業を促進する。

(3) 「市民交流プラザふくちやま」を拠点とし、地域の人々にとって身近な施設として、時代に即した幅広い活動を展開するとともに、社会教育団体や公民館登録団体の自主的な活動を支援し、地域コミュニティの活性化を促進するとともに、リーダー的役割を担う人材の育成を努める。

2 事業の概要及び特徴的な事業について

(1) 一般講座・教室（12講座）（下線新規教室）

『たのしい書道教室』 『絵画教室』 『クラフトバンド初心者教室』

『そば打ち教室』 『料理教室』 『男性クッキング』

『ボディシェイプ&ディスコワールド』 『台湾風ストレッチ～楽筋操～』

『バランスボールで弾もう』 『家でも簡単 日本茶教室』

『初心者の手作りパン教室』

優れた智慧・技を持つ高齢者から技能を学ぶ『季節料理教室』

ボランティア文化講座（2講座）『基礎料理教室』 『松柏盆栽教室』

従来より実施しており参加希望の多いものを継続し、体を動かすプログラムについては、参加者の声を聴き、少し激しいもの、ストレッチ的なものなど運動強度を選択できるように新規講座を調整した。

(2) わくわく体験教室（3教室）（下線新規教室）

夏休み期間を利用し、小学生が幅広い世代の人々と交流しながら新しい発見や知識を得たり、親子のふれあいを大切にしたい教室等を開催した。

◎「家族だんらの日の家族へのおもてなし」

『こども日本茶教室』 『こども手作りパン教室』

◎親子体験学習『自然観察会と植物標本づくり』

今年度は新規に一般講座でお世話になっている講師に子ども対象の教室について依頼した。いずれも好評であった。

(3) 人権教育の推進

共に幸せを生きるまちづくり人権講座（11月21日）

『外国にルーツのある方の人権』 ^{ハクキホ} 朴基浩さん（NPO法人クロスベイス理事）

人権推進室と調整し、今日的な課題をテーマに選定し実施した。

(4) 中央公民館文化祭（12月7日）

公民館講座の作品展示、公民館登録団体（18団体）の活動成果の発表の場として開催し、

料理教室講師による模擬店の出展、公民館登録団体による体験教室、各地域公民館等で活動している団体の音楽教室発表会などを通じ、公民館活動をPRし、活動の輪を広げる場となった。

3 成果と課題（次年度に向けて）

一般講座・教室については、年度当初に発行する情報誌のみの広報であるが、定員を大幅に超えるものが複数あった。なるべく多くの方に受講していただけるように講座の参加状況や、複数講座の申し込みがある方については調整した上での抽選制を継続し、自主的サークルがあるものについては、その参加を促す活動も行っていきたい。また、締め切り日までに定員に達しなかった講座・教室については追広報するなど公民館講座・教室の存在のPRに努めたい。

今年度の新規講座台湾風ストレッチ～楽筋操～（らーちん）においては、講座終了後、受講者による自主的なサークル活動（公民館登録団体）として発展し継続することになり、講座時と同じ曜日、時間で毎週開催されている。

今年度は講座参加者にアンケートを実施し、参加者の“声”を聞くことが出来た。講座・教室実施時間帯や曜日の希望については千差万別であったが、参加者の声も反映しつつ、平日日中、夜間、土曜日曜開催など時間帯やメニューも多様にし、次年度も新しい方々にも数多く参加していただけるような魅力的な講座を開催し、学びの場としてだけでなく、多くの人が集まり、ふれあいや交流を深める場となるよう、今後もより一層努力していきたい。

中央公民館

◎一般事業・講座

事業及び教室・講座名	開設時期	回数	受講者数	受講延人数
たのしい書道教室	6月～7月	5回	20人	94人
料理教室	6月～3月	6回	21人	人
男性クッキング	6月～3月	6回	19人	人
台湾風ストレッチ～ ^{らーおん} 楽筋操～	6月～7月	5回	25人	93人
初心者の手作りパン教室	6月～8月	5回	8人	38人
家でも簡単!!日本茶教室	7月～11月	5回	14人	54人
クラフトバンド・初心者教室	8月～12月	5回	15人	68人
季節料理教室	8月・12月	5回	20・16人	36人
そば打ち教室	8月～12月	5回	15人	54人
ボディシェイプ&ディスコワールド	9月～10月	5回	19人	67人
バランスボールで弾もう!	9月～1月	5回	13人	43人
絵画教室	10月～11月	5回	16人	58人
中央公民館文化祭	12月7日	1回	400人	400人

12
645



〈初心者の手作りパン教室〉



〈男性クッキング〉



〈家でも簡単!!日本茶教室〉



〈台湾風ストレッチ～楽筋操～〉



〈バランスボールで弾もう!〉



〈クラフトバンド教室〉

◎わくわく体験教室

回	日 時	事業内容	受講者数
1	7月20日(土) 8:30~11:00	自然観察会	11人
2	8月22日(木) 13:00~15:00	福知山の特産物「抹茶」を知ろう!	20人
3	8月23日(金) 13:30~15:30	手作りパン教室	8人



〈自然観察会〉



〈抹茶を知ろう!〉



〈手作りパン教室〉

◎ボランティア文化教室

教室・講座名	回数	開設時期	受講者数
基礎料理教室	月2回	4月~3月	18人
松柏盆栽教室	4回	4月~3月	7人



◎共に幸せを生きるまちづくり人権講座

実施日/場所	学習テーマ	講師	受講者数
11月21日(火)	外国にルーツのある方の人権 私にとっての「日本」	バクキホ 朴基浩さん (NPO法人クロスベイス理事)	144人

◎中央公民館文化祭

“集う・学ぶ・結ぶ”をテーマに公民館講座の参加者や各サークルが日頃の公民館活動の成果を発表する場として開催し、多くの来館者に公民館活動を知っていただく良い機会となっている。又、音楽発表会では、舞台運営を出演団体に分担するなど、参加者同士の協力によって祭りを創り上げることで、相互の交流が図られ、仲間づくりへと繋げていくきっかけづくりが出来た。

1. 期日 令和元年12月7日(土)
2. 会場 市民交流プラザふくちやま
3. 主催 中央公民館



☆『作品展示・体験教室』

7日(土) 午前9時30分～午後4時

出展団体 22団体 来館者数 400人

展示コーナー 中央公民館講座・地域公民館講座・公民館登録団体の作品等による展示

〈公民館登録団体〉

パッチワーク同好会・福知山ペン習字教室・惇明書道会・恭子クレイアート・押し花同好会・えんぴつの森・ポルトガル刺繍同好会・福知山市日本中国友好協会・クラフトバンド同好会・英会話サークル keep21・福茶山の会・らーちん同好会

体験コーナー 押し花同好会：はがき・しおり作り
クラフトバンド同好会：クラフトバンド体験
恭子クレイアート：クレイアート体験

公開講座 英会話サークル keep21

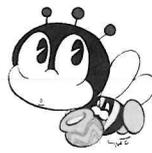
食べ物コーナー 中央公民館による模擬店
炊き込みご飯・おこわ・大学いも



☆『音楽教室発表会』

7日(土) 午後1時～ 市民交流スペース 来館者数 250人
コーラス・歌謡・ハーモニカ・大正琴・オカリナ・アコーディオン 出演団体 11団体





令和元年度も生涯学習講座事業を通して、新しい学びのきっかけづくりや親子のふれあい、世代間の交流等、新しい出会いから広がる人の輪、地域の輪を繋げていくために、一般講座12講座、わくわく体験教室3教室、ボランティア文化教室2教室を開催した。

健康づくりを目的とした講座は、若い世代から高齢者まで参加希望者が多く、大変人気が高い講座のため、新しく公民館講座に参加していただくきっかけづくりとして、「心と体をリフレッシュ」と題し、新規の講座も含め体を動かす3講座を継続的に実施した。

又、全ての講座、教室において、できるだけ地域の方に講師になっていただき、知識を広めていただくことで地域の人材活用と指導者の育成にも努めた。

◎講座事業等について

【中央公民館講座】 12講座

・継続講座9講座

- ・たのしい書道教室(5回)・料理教室(6回)・男性クッキング(6回)・そば打ち教室(5回)
- ・絵画教室(5回)・家でも簡単!!日本茶教室(5回)・バランスボールで弾もう!(5回)
- ・季節料理教室(2回)・クラフトバンド初心者教室(5回)

・新規講座3講座

- ・ボディシェイプ&ディスコワールド(5回)・台湾風ストレッチ～楽筋操～(5回)
- ・初心者の手作りパン教室(5回)

各講座には、子育て世代から高齢の方まで幅広い年代層の参加があり、皆さんが意欲的に取り組み、参加者同士の交流も図れた。公民館は活動を通して、ふれあいや交流を深める場であり、今後もより多くの人に来ていただけるよう、受講者のニーズや地域課題解決につながるような魅力的な講座を開催していきたい。今年度、台湾風ストレッチ～楽筋操～においては、講座終了後、受講者による自主的なサークル活動として発展し継続することになったことは成果であった。これからも、様々な地域課題に対応できるリーダー的役割を担う人材を公民館活動を通じて養成できるように、既存のサークルや同好会に対しても積極的に協力していきたい。

【わくわく体験教室】 3教室

夏休み期間を中心に親子を対象 ・自然観察会 ・福知山の特産物「抹茶」を知ろう!
小学生対象 ・手作りパン教室

福知山の特産物「抹茶」を知ろう!は「家族団らんの日」のおもてなしとして、福知山のお茶を学ぶとともに、石臼体験、抹茶アート体験をした後、付き添いの家族に抹茶アートで感謝のメッセージを書き、抹茶を差し上げる呈茶体験をし、なごやかなひとときが過ごせた。

「自然観察会」では、三段池周辺を散策し、地層や昆虫、植物を観察したあと、標本の作り方を教わり植物の標本を作った。祖父母と孫とで参加していただいた方もあり、世代を超えた学び・ふれあいの場を作ることができた。

【ボランティア文化教室】 2教室

「基礎料理教室」(講師:つくしの会)は、年間を通し月2回「実習を通して次の世代に伝えたい福知山の食文化」を目的として開催している。調理の基本を大切にしながら、季節を取り入れた実習がおこなわれ、夜の教室として、昼間にお仕事されている方には参加しやすい教室となっており、男性の参加者も増加している。

「松柏盆栽教室」(福知山盆栽愛好会)は、それぞれの季節の手入れの仕方や植替えなど、盆栽作りの基本を学べる場として、年間5回(うち1回は文化協会主催の文化教室として開催)開催している。

◎活動支援団体

福知山高齢者大学

福知山高齢者大学は「高齢者が、お互いの人間性を高めるため、健康に留意し、趣味や教養を深め、自らが積極的に時代に適応した学習をおこない、いたわり、励まし合い、生涯学習を通して、社会参加を進め自分たちの生活を生き生きと充実したものにするを目的とする」という趣旨に則り、各地域から選出された実行委員により、講座の企画から運営までを自主的におこなっている。

令和元年度は17講座が実施され、延べ1,206人の参加者があった。実行委員が声をかけあって参加を呼びかけることで、参加率も高く、高齢者の健康づくり、友だちづくり、生きがいくりの場となっている。

◎中央公民館利用状況（平成31年1月～令和元年12月）

（単位：件）

室名	けやきの間	うぐいすの間	クッキング ルーム	アトリエ	会議室 4-1	会議室 4-2	合計
件数	320	311	322	263	559	748	2,523

◎中央公民館利用者数（平成31年1月～令和元年12月）

（単位：人）

月別	利用者	月別	利用者	月別	利用者	月別	利用者
1月	2,904	4月	2,851	7月	4,370	10月	4,361
2月	3,879	5月	3,343	8月	3,964	11月	5,786
3月	3,745	6月	3,488	9月	4,054	12月	3,481
						計	46,226

令和元年度 第2回市立公民館運営審議会(2月20日)資料

川口地域公民館

1 令和元年度事業取組の重点について

- (1) 子どもから高齢者まで、誰もが気軽に利用できる地域公民館づくり、明るく働きやすい職場環境づくりを構築し、「人・情報・笑顔」の集まる場所づくりを目指す。
- (2) 地域・世代間の交流を促進し、楽しい地域づくりのための生涯学習を推進する。
- (3) 明るく住みよい地域づくり活動の一環として、人権教育、心の教育を推進する。

2 事業の概要及び特徴的な事業等について

(1) 学習活動の推進 … 一般講座・教室の開催(下線は本年度初講座)

- ①健美操教室(5回) ②エコクッキング教室(5回) ③笑筆教室(4回)
- ④男性の料理教室(3回) ⑤プロに学ぶ中華料理教室(2回)
- ⑥自己を見つめる教室(3回) ⑦飾り巻き寿司教室(2回)
- ⑧多肉植物寄せ植え教室(2回) ⑨歴史探訪福知山城講座(2回)
- ⑩親子料理教室(1回) ⑪手作り味噌教室(1回)

(2) 家族ふれあい体験事業

親子体験教室・・・幼児から小学生を対象にした家族の料理教室開催。

(3) 地域づくりの推進(川口地域公民館運営協議会)

*コミセンまつり(10月6日(日)開催)

- ・川口学区「みんなの登校日」に合わせ川口地域教育協議会と共催で、Team Taiko-Lab(和太鼓)を招き演奏を鑑賞。子どもから大人まで一緒に演奏し、大変好評であった。
- ・2小学校と1中学校の児童・生徒全員が川口中学校に一堂に会し、合同授業やスポーツの交流を図り、また、「地域の達人体験授業」として地域の方々から色々な分野の文化・歴史等を学ぶ。
- ・講座・教室・クラブ等の作品展示。

(4) 人権教育の推進(川口地域人権教育推進協議会)

①「共に幸せを生きるまちづくり人権講座」6月8日(土)実施

*講師:柳川春己様「夢への挑戦」～目は見えなくても夢は見れる～

②視察研修の実施(11月19日(火)京都洛南方面)

③人権講演会の開催予定(2月22日(土))

*講師:山崎敬一様「介護という名の贈り物」～認知症の妻と歩んだ14年～

(5) 心の教育実践活動

①あいさつ運動の実施(2小学校・1中学校)

*各地区公民館、地区団体の協力を得て、各学校の校門付近・通学路にて実施。

②家族だんらんの日の啓発活動

*上川口保育園では、陶芸教室をとおして物作りの楽しさや喜びを学び、金谷保育園ではチューリップの球根を植え、育てる喜び楽しさを学ぶ。

3 成果と課題(次年度にむけて)

川口地域だけでなく地域外からの受講者も多くなり、幅広い交流の場を提供すること出来た。次年度に向けてより一層、魅力のある講座・教室、また各事業の開催を目指し、より多くの方々に交流の場、学んでいただく場を提供できる様、努力して行きたいと思う。

川 口 地 域 公 民 館

◎一般事業・講座

事業及び教室講座名	開設時期	回数	受講者数	受講延人数
歴史探訪福知山城講座	10月～11月	2	16人	27人
エコクッキング教室	6月～11月	5	17人	74人
健美操(体操)教室	6月～11月	5	24人	88人
笑筆教室	6月～9月	4	5人	16人
自己を見つめる教室	6月～9月	3	21人	36人
男性の料理教室	6月～9月	3	12人	26人
プロに学ぶ中華料理教室	9月～11月	2	25人	25人
飾り巻き寿司教室	6月～7月	2	15人	25人
多肉植物寄せ植え教室	10月～11月	2	10人	16人
手作り味噌教室	1月	1	16人	16人
夏休み親子料理教室	7月	1	13人	13人
川口コミセンまつり	10月	1	360人	360人
人権協視察研修	11月	1	16人	16人
川口人権講演会	令和2年2月	1	人	人

計
3378



【自己を見つめる教室】



【プロに学ぶ中華料理教室】



【親子料理教室】



【手作り味噌教室】



【歴史探訪 福知山城講座】



【視察研修】

◎共に幸せを生きるまちづくり人権講演

月日／場所	学習テーマ	講師	受講者
6月8日(土) 川口地域公民館	「夢への挑戦」 ～目は見えなくても夢は見れる～	柳川 春己	77人



◎心の教育実践活動



【金谷っ子まつり】



【上川口保育園・陶芸教室】

◎川口地域公民館運営協議会の活動

平成31年5月26日(日) 川口地域運営協議会総会開催

9月19日(月) 第1回川口地域運営協議会役員会

コミセンまつりについて(川口教育協議会合同開催)

10月 4日(金) コミセンまつり準備16:00～

展示物等の搬入、展示

10月 6日(日) コミセンまつり当日

川口中学校にて、「みんなの登校日」に合わせて

コミセンまつりを開催

終了後、コミセン展示物等撤収



～コミセンまつり～



～地域の方の作品～



～多肉植物寄せ植え教室作品～

令和元年度をふりかえって 一川口地域公民館一

【一般講座・教室 他】

本年度、川口地域公民館では、11の一般講座・教室の開講と人権視察研修、川口地域人権講演会を実施した。

講座・教室では、新しい講座を取り入れ、受講申込者数等、日程調整などの心配はあったが、予定していた定員数を超える申し込みの教室もあり、地域外の受講申し込みも多く、地域内外問わず交流が持てたのではないかと思います。

今後の課題としては、川口地域だけでなく地域外からの受講者も多くなり、幅広い交流の場を提供するために、今後もより一層、魅力のある講座・教室の開講、各事業の開催を目指し、より多くの方々に良き交流の場、学んでいただく場を提供出来る様、努力して行きたいと思う。

【人権教育の推進】

川口地域人権教育推進協議会では、本年度も川口地域人権講演会と視察研修を実施した。視察研修では、「人権ゆかりの地をたずねて」をテーマに京都洛南コースをめぐり研修を実施した。

当時の社会情勢や、文化について学ぶ事が出来、さらなる人権学習の向上になった。

また、普段なかなか会う機会の少ない参加者同士の交流も深まり、大変有意義な視察研修となった。

川口地域人権講演会では、今年度は高齢者問題について「介護という名の贈り物」～認知症の妻と歩んだ14年～をテーマに開催。

認知症の家族お二人を同時に介護された事や、介護疲れを癒す場を作られた話など、経験をもとに認知症カフェ「ここあん」、「ホッとHOT」代表 山崎敬一様に講演を依頼実施した。

【地域づくりの推進】

本年度は、10月6日(日)川口地域教育協議会との共催で、Team Taiko-Lab(和太鼓)の皆様を招き、川口中学校にて、「川口コミセンまつり」を開催し、約360人と多くの参加者が集い、子どもから大人まで楽しめる和太鼓演奏を鑑賞したり、参加したりと、大変好評であった。

また、令和元年度の講座・教室や地域で活動されているクラブの方々の作成された作品を展示する作品展の開催にも、地域内外から多くの方々に来ていただき、紹介出来た。

【心の教育実践活動】

毎月11日に心の教育実践活動の一環として、2小学校(上川口小、金谷小)・1中学校(川口中)を対象に、各学校の校門付近や通学路において「あいさつ運動」を実施し、児童・生徒と地域住民との交流を図った。

「あいさつ運動」が単に挨拶をするだけの場で終わるのではなく、この運動を通しての交流が、子ども達と地域住民との信頼関係につながり、川口地域の防犯意識の抑止にもなり、地域の子供達を守っていくために大きな役割を果たしているものと考えている。

本年度も昨年度に引き続き「心の教育実践活動」として川口地域内の2保育園(上川口・金谷)において、育てる楽しさや造る喜び、また、命の尊さを学んでいただくよう各保育園と連携を図り、参観日等の行事日に合わせ、上川口保育園では陶芸教室、金谷保育園ではチューリップの球根植えを実施した。

このような取り組みを通して、園児たちが楽しそうに家族や地域の方々と作業する姿を見ると、今後も継続していくべき公民館活動の取り組みである事を実感した。

令和元年 川口地域公民館・体育館 月別利用状況

平成31年1月～令和元年12月

月	開館日数	公民館				体育館							合計		一日平均											
		会議室	料理室	和室	研修室	事務室	合計	バスケット	バドミントン	バレーボール	その他	合計	総計													
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数									
1月	23	1	4	0	0	1	15	5	89	13	26	20	134	0	0	6	49	0	0	7	55	13	104	33	238	10.3
2月	23	2	15	0	0	0	0	9	225	10	17	21	257	1	10	3	23	0	0	7	49	11	82	32	339	16.1
3月	26	3	6	0	0	1	10	6	108	16	24	26	148	6	25	3	25	0	0	6	50	15	100	41	248	9.5
4月	24	2	11	0	0	1	10	6	91	15	35	24	147	0	0	3	13	4	28	4	23	11	64	35	211	8.8
5月	21	0	0	2	6	1	10	9	148	12	26	24	190	2	7	2	12	3	26	8	33	15	78	39	268	11.7
6月	26	2	12	5	51	4	41	8	181	11	19	30	304	1	4	4	22	4	35	9	108	18	169	48	473	18.2
7月	25	2	11	4	44	2	32	13	255	16	33	37	375	2	8	4	30	3	25	6	64	15	127	52	502	20.1
8月	25	2	10	0	0	5	53	10	172	8	15	25	250	2	7	3	15	3	23	14	215	22	260	47	510	19.6
9月	24	2	10	5	43	4	41	8	131	13	28	32	253	6	25	3	18	3	24	20	775	32	842	64	1095	45.6
10月	25	1	7	1	16	0	0	10	164	21	24	33	211	5	32	3	17	3	31	9	35	20	115	53	326	13.0
11月	23	0	0	2	28	0	0	8	123	9	10	19	161	6	33	4	21	4	34	2	17	16	105	35	266	11.1
12月	22	1	8	0	0	0	0	7	122	17	19	25	149	6	42	5	33	0	0	2	10	13	85	38	234	11.1
計	287	18	94	19	188	19	212	99	1809	161	276	316	2579	37	193	43	278	27	226	94	1434	201	2131	517	4710	195.3
月平均	24	2	8	2	16	2	18	8	151	13	23	26	215	3	16	4	23	2	19	8	120	17	178	43	393	16

1 令和元年度事業（取組）の重点（第1回の再掲）

福知山市教委の社会教育の重点・「心の教育」実践活動方針等に基づき、「ふれあい」を基本テーマに親子・家族・地域の絆を深める施策を中心に公民館の運営を進める。特に、来年度から佐賀小学校が遷喬小学校と統合するため、日新地域の絆づくりを進めます。

(1) 「親子・家族のふれあい」事業

「体験やものづくりに挑戦する」ことを基本とした教室・講座と運営協議会共催による青少年学校外活動

(2) 「地域のふれあい」事業

「良好な地域コミュニティと生涯学習の場」を提供するため、利用者のみなさんの学習ニーズに合った新規講座を加え、講座・教室を実施

- (3) 日新ブロック「心の教育」実践活動計画のもと、「あいさつ運動」「家族だんらんの日」啓発推進事業、「『心の教育』実践活動発表会」と「ふれあいコンサート」のコラボ開催など、各地区公民館など諸団体との連携を図り、地域ぐるみで啓発事業
特に、日新中学校とは、各地区公民館とともに「21日新 夢と希望の会」を通じて中学生と地域との関わり方を具体的に考えて取り組むことや地元的高等学校等との連携を大切に事業の展開

上記の目標を達成するため、新聞等による広域広報やコミセンだより（各戸配布、組回覧）で地域への積極的な情報提供とともに、豊富な知識・技能や経験を生かした地域人材の活用による各種教室・講座の開講に努める。



2 事業の概要及び特徴的な事業について

(1) 親子一緒に体験やものづくりなどに挑戦する家族だんらん講座

「親子陶芸教室」「動くおもちゃ製作教室」（府立工業の高校生ボランティア）「親子で描くパステルの“せかい”」

(2) 地域を知る講座、趣味を活かす講座など、より焦点化した講座

「地域の企業を知る」「淑徳スイーツづくり」「草木染め」「初めてのそば打ち」など

(3) 日新地域公民館運営協議会（運営幹事会：雀部・遷喬・佐賀・成仁の各地区公民館長・主事）の事業による日新地域のふれあい・絆を深める事業（佐賀小の子どもたちの頑張り）

「日新地域子ども綱引き大会」 優勝 佐賀 準優勝 雀部 A 3位 成仁 C

「日新地域子どもカルタ大会」 優勝 佐賀 A 準優勝 佐賀 B 3位 遷喬 A

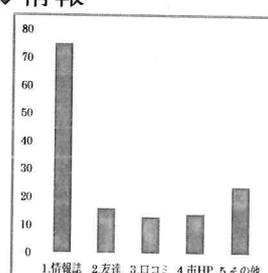
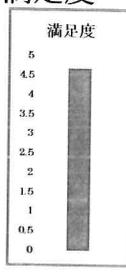
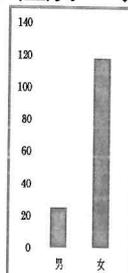
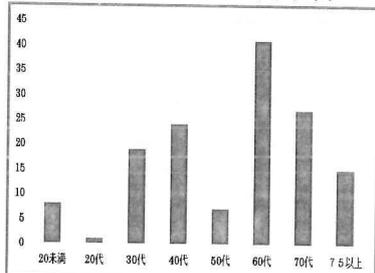
(4) 「地域のふれあい」と「地域人材活用」による一般講座（本年度 各講座でアンケート実施）

(5) 人権教育の推進（日新（雀部・遷喬・佐賀・成仁）での人権講演会、心の教育の実践活動、など）

3 成果と課題（次年度に向けて）

※アンケート結果

◆講座受講生の年齢層 ◆性別 ◆満足度 ◆情報



《成果》来年度から統合する佐賀小学校への思いを大切に、運営協議会と共に事業ができた。

・公民館の講座も、ほぼ目標を達成できた。

（アンケート結果）



《課題》・若い世代が公民館活動（地域のふれあい活動）の大切さを知り、主体的に動ける事業の設定。

◎第72回優良公民館表彰を受けました。（授与式 令和2年2月14日）

【「親子・家族のふれあい」と「地域のふれあい」】 -京都市立福知山立日新地域公民館-

キーポイント:笑顔あふれる公民館活動 ～つどう まなぶ むすぶ～

1. 事業の内容・工夫

(1) 実施主体

- ・福知山市立日新地域公民館
- ・日新地域公民館運営協議会(雀部、遷喬、佐賀、成仁)

(2) 連携・協働団体

- ・日新地域公民館運営協議会(各地区公民館の部会)
- ・日新プロジェクト「心の教育」実践活動実行委員会

(3) 実施内容

- ①公民館一般講座・教室<つどう・まなぶ・むすぶ>
- ②運営協議会との共催事業(綱引きなど)<つどう・むすぶ>
- ③心の教育実践活動・人権<つどう・まなぶ・むすぶ>
- ④公民館使用団体とのつながり<つどう・むすぶ>



取組の工夫

- ・地域の方や地域の団体を講師に迎えたり、福知山市の高校、地元中高と連携し学生ボランティアを依頼をしたりつながりをつけている。
- ・地元の企業や福知山公立大学ともつながっている。

日新地域公民館運営協議会

- (事業) 子ども綱引き大会
- ビーチボールバレー大会
- 日新ふれあいまつり
- 子どもカルタ大会
- 囲碁・将棋大会

雀部地区公民館

遷喬地区公民館

佐賀地区公民館

成仁地区公民館

日新地域公民館

心の教育実践活動・人権講演会

公民館講座

- ※親子講座
- ・親子陶芸教室
- ・親子動くおもちゃ製作教室
- ・親子で描くパステルの“せかい”

※地域を知る講座や趣味を活かす講座など

公民館講座数
(15講座37回)

公民館使用団体

2. 事業のきっかけ(取組の背景)

- (1)福知山市は、地区公民館(小学校区単位で住民が運営する公民館)がしっかりとおり、地域公民館(中学校区単位に設置された公立の公民館)が創立されるときにも自治会組織と共に地区公民館が運営組織を立ち上げ、地域公民館を地域全体のふれあいの場にされてきた。
- (2)日新地域公民館として創立40周年を迎え、創立当初からの運営協議会が記念事業を開催し、地域のつながりを大切に、更なる歴史に向かつて活気ある活動を推進している。
- (3)地区公民館・小学校をはじめ各団体が組織的なつながりの中で、日新地域の子どもたちや地域の方の交流(熱のある楽しさ)が継続できている。
- (4)心の教育実践活動(地域未来塾、11月実践発表とふれあいコンサート)

3. 担当者の所感、参加者の声

(参加者) ・「俺にまかせろ 男の料理教室」大変役に立ち、家庭でつくことも多くなり、夫婦円満に貢献している。

・「地域を知る」地元企業を見学し、見るものすべてに感動しました。

(担当者) ・講座で学ぶ楽しさを知り、同好会を立ち上げて活動されている。

日新コーラス 七宝クラブ ヨガ なごみ花 笑筆 パステル 等々

4. 今後の展開

・次年度以降の実施予定について→継続して実施

・令和元年度の公民館アンケート結果を公民館運営審議会に報告し、自治公民館と公立公民館が協力し合って、更なる「笑顔あふれる公民館活動」を継続的に推進する。

・来年度も、生涯学習情報報誌「学ぶ楽しさ生かす喜び」の全戸配布する

日新地域公民館

◎一般事業・講座

事業及び教室・講座名	開設時期	講座回数	参加人員	受講延人員
手ごねパン作り教室	6月	4	8	32
草木染め教室	6月・10月	2	12	22
シニアノルディックウォーク	6月23日	1	11	11
かんたんヨガ教室	6月～7月	3	22	53
俺にまかせろ 男の料理教室	6月～10月	3	8	22
笑筆（えふで）教室	6月～10月	4	10	37
女性学級 フルー大福づくり	7月6日	1	20	20
親子陶芸教室（土コース）	7月～8月	2	22	42
親子陶芸教室（日コース）	7月～8月	2	17	34
動くおもちゃ製作教室	7月27日	1	15	15
共に幸せを生きるまちづくり人権講座	7月・9月	2	—	69
親子で描くパステルの“せかい”	8月3日	1	20	20
パステル和アート教室	8月～10月	3	9	20
なごみの生花教室	8月～12月	5	7	31
地域を知る“長田野工業団地”	10月3日	1	22	22
日新ふれあいまつり in 2019	11月9日・10日	2	—	1,886
趣味を活かす 淑徳スイーツづくり	11月16日	1	12	12
心の教育実践活動発表会 & 日新ふれあいコンサート	11月18日	1	296	296
女性学級 貯筋体操	12月1日	1	19	19
初めての そば打ち教室	12月	3	9	24



〈 草木染め教室 〉



〈 趣味を活かす 淑徳スイーツづくり 〉



〈 シニアノルディックウォーク 〉



〈 親子陶芸教室 〉



〈 動くおもちゃ製作教室 〉



〈 親子で描くパステルの“せかい” 〉

◎女性学級

実施日	事業内容	講師	受講者数
7月6日(土)	フルーツ大福づくり	各地区の女性部代表	20人
12月1日(日)	貯筋体操	澤邊 まゆみ	19人



〈 フルーツ大福づくり 〉



〈 貯筋体操 〉

◎共に幸せを生きるまちづくり人権講座

月日/場所	学習テーマ	講師	受講者数
7月12日(金) 地域公民館	『認知症の向こう側にある心』 ～おじいちゃんから孫へ～	公益社団法人和歌山県人権 啓発センター 岩崎 順子	46人
9月27日(金) 地域公民館	子育て・親育ち	福祉保健部子ども政策室 家庭支援課 高山 明子	23人





◎ 体育事業活動

(1) 「第12回 日新地域子ども綱引き大会」

☆開催日 令和元年7月14日(日)

午前9時00分～午前11時00分

☆会場 日新地域体育館

☆参加人員 154名 (内 小学校高学年 75名)

☆成績 優勝…佐賀チーム 準優勝…雀部Aチーム 3位…成仁Cチーム



(2) 「第21回 日新地域ビーチボールバレー大会」

☆開催日 令和元年7月14日(日)

午後1時00分～午後4時30分

☆会場 日新地域体育館

☆参加地区 雀部・遷喬・佐賀・成仁(各地区3チーム)

☆参加人員 94名

☆成績

上級チーム 優勝…成仁Bチーム 準優勝…遷喬Bチーム 3位…成仁Aチーム

チャレンジ 優勝…雀部Cチーム 準優勝…成仁Cチーム 3位…佐賀①チーム



◎ 文化事業活動

(1) 「日新ふれあいまつり in 2019」

☆開催日 令和元年11月 9日(土)

午前11時00分～午後5時00分

令和元年11月10日(日)

午前 9時00分～午後3時00分

☆会場 日新地域公民館・体育館

☆来場者数 延べ1,886名



(2) 「第12回 日新地域子どもカルタ大会」

☆開催日 令和2年1月18日(土)

午前9時00分～午前11時30分

☆会場 日新地域公民館 (和室)

☆参加人員 156名 (内 小学校低学年 55名)

☆成績 優勝…佐賀Aチーム

準優勝…佐賀Bチーム

3位…遷喬Aチーム



(3) 「第36回 日新地域囲碁・将棋大会」

☆開催日 令和2年1月26日(日)

午前9時00分～午後4時00分

☆会場 日新地域公民館 (研修室・会議室)

☆参加人員 68名 (内 囲碁35名, 将棋11名)

☆成績 「囲碁」 各地区 7チーム参加

「囲碁」 チーム団体戦

優勝 …雀部Aチーム

準優勝…雀部Bチーム

3位 …成仁チーム

「将棋」 個人対抗

優勝 …浅田和幸様(成仁)

準優勝…森下正康様(遷喬)

3位 …平山則夫様(雀部)





【一般講座・教室】

今年度も「親子・家族のふれあい」と「地域のふれあい」をテーマに15の教室(土・日、前期・後期などの教室で分けると17教室)を開講し、講師には地域の方々や淑徳高校・各団体・市内在住の皆さんに大変ご協力をいただきました。特に、この2、3年の『食の講座』、『スイーツ』『地域を知る』と開催してきた市民のニーズに合った講座の流れを活かし、本年度は『趣味を活かす教室』『健康教室』を開講し、多くの希望者がありました。

また、福知山市『心の教育』実践活動の「家族だんらんの日」につなげるための親子体験教室は、今年度も府立工業高校の生徒さんのボランティアで開講した「動くおもちゃ製作教室」、福知山で頑張っておられる陶芸家のご協力で開講した「親子陶芸教室」、親子で描く「パステルのせかい」では、子どもたちと保護者が一緒に製作する中での家族のつながりと笑顔を、今年も見ることができ、高校生が小学生に教える姿には、毎年感心します。

今後の課題としては、限定された地域住民の参加だけでなく広域化した市民のニーズにあった福知山ならではの講座・教室を、市全体で創り出し、更に学びを通して市民同士の交流や生涯学習のリーダー育成につなげていく必要があると考えます。



【日新地域公民館運営協議会】

雀部・遷喬・佐賀・成仁地区からなる運営協議会は、幹事会をはじめ各担当部、各団体の皆さんが主体的に動かれ、7月開催の日新地域体育事業、11月開催の「日新ふれあいまつり in 2019」、1月開催の日新地域文化事業を成功裏に終わられました。

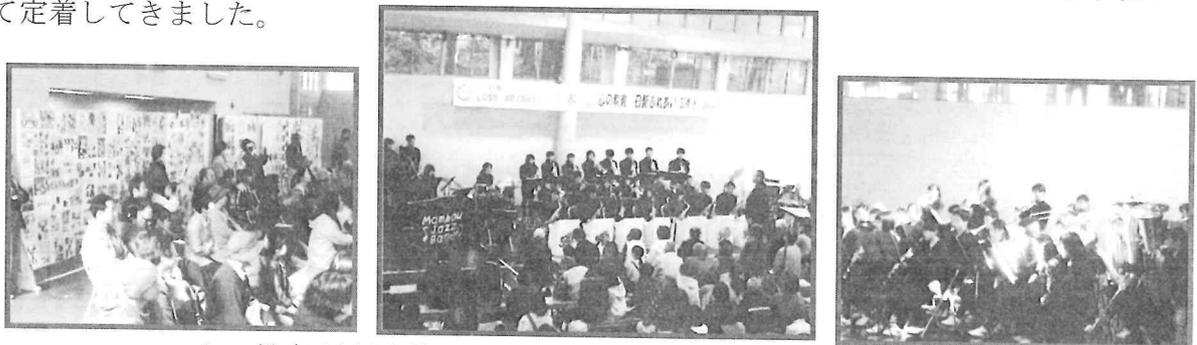
特に、主体的に動かれた各地区役員の方々が、今後の日新地域の新しい地域連帯感を生み、地域づくりのリーダーとして活躍されるため、「つどい・まなび・むすぶの場」事業の展開があればと思います。



【心の教育実践活動】

毎月11日を基本に「あいさつ運動」「家族だんらんの日」を推進してきました。各地域の団体の方の協力や参加もあり、子どもたちも元気に挨拶を交わしているところです。

また本年度も「心の教育」実践発表会と「日新ふれあいコンサート」をコラボし、実践発表は、雀部小学校と佐賀公民館が発表され、コンサートは、府立工業高校のマンボウ、日新中学校の吹奏楽部、福知山高校吹奏楽部の素敵な音楽を聴かせていただき、心温まる取組として定着してきました。



心の教育実践活動展示・発表 & 日新ふれあいコンサート

【人権啓発の活動】

「共に幸せを生きるまちづくり人権講座」として、7月と9月の2回計画しました。7月の「認知症の向こうにある心～おじいちゃんから孫～」講師：和歌山県人権啓発センター岩崎順子さんから、一緒に過ごした日々を大切にしてほしいことなど温かい心の話でした。9月の「子育て・親育ち」講師：福祉保健部こども政策室の高山さんからは、子どもへの虐待事件があった時でもあり、高山さんの経験を通しての話で、子育て家庭への傍にいる私たちができることを教えていただきました。参加者は、合計69名の参加でした。

日新地域公民館・体育館利用状況

平成31年1月～4月、令和元年5月～12月

上段：男子 下段：女子

月別	開館日数	公民館										体育館										合計		一日平均														
		和室	工作室	会議室	料理室	研修室	図書室	その他		小計	合計	卓球	バドミントン	空手(2月まで)	バレーボール		ソフトバレー	その他	小計		合計																	
								男	女						男	女			男	女																		
1月	23	133	3	10	8	29	0	10	80	23	128	23	22	75	455	379	72	834	16	57	15	125	3	19	2	3	7	34	3	21	259	174	46	433	118	1,267	5	55
2月	23	6	4	8	13	42	0	6	26	151	23	20	70	303	307	72	610	15	31	15	106	3	19	2	4	4	8	43	2	8	211	195	45	406	117	1,016	5	44
3月	26	4	6	5	11	51	0	10	85	81	24	34	112	341	349	79	690	20	70	18	141	0	0	3	7	7	38	7	13	269	316	55	585	134	1,275	5	49	
4月	24	3	4	1	12	28	0	9	63	44	23	20	98	237	308	73	545	19	50	16	78	0	0	4	12	4	38	0	0	178	271	47	449	120	994	5	41	
5月	21	3	4	0	9	34	4	12	118	84	18	32	69	309	457	70	766	18	35	11	83	0	0	4	8	4	31	6	20	157	201	39	358	109	1,124	5	54	
6月	26	70	4	1	15	79	9	14	168	104	24	55	107	538	911	93	1,449	23	47	13	88	0	0	8	43	8	40	1	9	218	312	53	530	146	1,979	6	76	
7月	25	57	7	35	12	67	3	11	126	117	24	75	85	499	795	87	1,294	17	40	13	86	0	0	6	93	7	35	5	98	351	362	48	713	135	2,007	5	80	
8月	25	17	5	17	11	60	4	7	16	87	23	58	57	272	563	77	835	11	18	13	79	5	25	2	28	9	34	4	5	179	209	44	388	121	1,223	5	49	
9月	24	24	7	2	16	41	5	11	44	40	22	49	65	221	596	87	817	14	27	17	115	2	0	2	2	16	37	1	3	196	211	44	407	131	1,224	5	51	
10月	25	17	7	14	13	51	6	11	49	77	24	48	74	327	654	86	981	19	32	16	96	0	0	4	4	8	36	2	6	168	250	49	418	135	1,399	5	56	
11月	23	80	7	51	16	77	7	10	72	147	21	193	680	1165	2708	88	3873	14	29	8	34	0	0	3	6	6	25	7	659	753	1613	38	2366	126	6,239	5	271	
12月	23	40	9	11	9	14	3	9	66	94	23	27	59	297	519	81	816	14	24	11	49	0	0	3	0	0	33	1	2	106	148	36	254	117	1,070	5	47	
計	288	59	451	158	61	573	40	120	913	1,154	266	623	1,551	4964	8,546	965	13,510	200	460	166	1,080	13	68	43	210	89	424	33	803	3,045	4,262	544	7,307	1509	20,817	63	873	
月平均	24	5	38	13	5	48	3	10	76	96	22	52	129	414	712	80.4	1,126	17	38	14	90	1	6	4	18	7	35	3	67	254	355	45	609	126	1,735	5	73	

北陵地域公民館

1 令和元年度事業（取組）の重点について

- ①北陵地域唯一の公共施設であり、多くの地域住民が和気藹々と集える場所として利用推進を図り、公民館行事・講座の参加者を毎月発行している公民館たより等通じ広報活動を行い、地域や世代を超えた交流ができるよう努めた。
- ②地域活性化組織の雲原砂防イベント実行委員会の主催する事業や金山地域にある「金山教育集会所」が開催している事業・各種教室、また大学生有志や市社会福祉協議会、NPO 団体など地域を巻きこんでの地域力発信や福祉・防災等の事業を積極的に支援・協力した。
- ③北陵地域の特性を活かした事業の展開（北陵地域公民館運営協議会主催）
「北陵地域公民館まつり」。「雪まつり」は開催場所の関係で中止になりました。

2 事業概要および特徴的な事業等について

①北陵地域公民館運営協議会事業

「グラウンドゴルフ大会」6月は雨天中止・11月2日の1回開催

「北陵地域公民館まつり」11月17日

②人権教育の推進

- ・共に幸せを生きるまちづくり人権講座の開催

北陵地域公民館 8月4日 一講師：旭堂 南春さん

アメリカ合衆国出身 女性講談師

北陵地域公民館 11月17日一講師：田久 朋寛さん

大道芸人 たつきゆうさん

北陵地域「公民館まつり」内での催し

- ・地区巡回人権講座 雲原公民館 8地区 6月～11月
金山公民館 6地区 8月～ 3月

③心の教育実践運動（毎月11日）

- ・挨拶運動－参考：上川口小4人・川中9人・天津小4人・成和中2人
- ・家族だんらんの日

④講座・教室関係

新規講座

- ・たのしい和菓子作り（5月29日・6月26日・8月7日）3回
- ・天座地区に残る大江山鬼退治伝説（7月20日）1回
- ・地域ふれあい講座・廃校を利用した地域活性化（10月5日）

継続講座

- ・エコ・ECO 教室（7月12日）1回開催
- ・手作りこんにやく（11月26日）1回開催
- ・いろりばた～温故知新～（12月7日、14日）2回開催

その他一般教室

陶芸教室（クラブにて運営）休講

⑤協力事業

- ・大江山一斉登山（大江山観光開発協議会）
- ・第13回ドラム缶転がしタイムレース（雲原砂防イベント実行委員会）
- ・世代間交流「流しそうめん」（金山地区公民館）
- ・防災大作戦（大学生有志・市社会福祉協議会・NPO 団体・地元有志）
- ・大江山スノーシューハイク（大江山鬼っ子の会）

3 成果と課題（次年度に向けて）

講座や教室はどんな内容が皆さんに受講してもらいやすいのかを考え、受講者の人数を増やしていくことが今後の課題である。また、地域に残る伝統文化や地域の語り部などを後世に残し伝えていくことも大切なことと考えている。そして、地域の文化や立地条件などを大いに活用し、多くの人が面白いなど興味を抱く講座や催し物がどんどん発信して地域内外の交流が盛んになっていくことを望んでいる。

公民館の位置づけとして、地域住民のために社会教育に推進する拠点施設として中心的な役割を果たすこと、また公民館は仲間同士が「つどう」「まなぶ」「むすぶ」ことを促し、人づくり・地域づくりに貢献することをさらに向上させていかなければいけないと考える。

生活の中で気軽に人々が集うことができる場、自らの興味関心に基づいて、また社会の要請にこたえるための知識や技術を学ぶ場、地域のさまざまな機関や団体の間にネットワークを形成すること。

少子高齢化で農村部の人口は加速的に減少し、住民構成では高齢者が半数を超えている当北陵地域では、今後も公民館の役割として「つどう」「まなぶ」「むすぶ」を基本とした事業を展開していくが、とりわけ、3項目目の「むすぶ」を充実させていく必要があると思う。人々が集まったり、学習したりすることは、生活の基盤が安定していることの上に成り立っている、地域の方々が普通に生活をする、また今以上に快適に生活ができる、そういった地域作りが必要で、地区公民館地域内の複数自治会がそれぞれの自治活動をされているのを繋げ、それぞれが刺激しあい全体の地域社会を向上させる役割を担う、また時には行政とのパイプ役になる、そして地域住民とはより近い位置でいろんな声を聴いていっしょに考える、地域の生活基盤、福祉・交通・防災等、「地域づくり」を地域の方々と一緒に考え行動する、こういった事が今後の公民館が地域に存在する意味を成すのではないかと考える。

北陵地域公民館

◎一般事業・講座

事業及び教室・講座名	開設時期	回数	受講者数	受講延人数
たのしい和菓子作り	5月～8月	3	17	37
エコ・ECO教室	7.12	1	4	4
共に幸せを生きるまちづくり人権講座	8月、11月	2	100	90
公民館まつり	11.17	1	約300	約300
ふるさと再発見いろりばた～温故知新～	12. 7、12. 14	2	18	25
手作りこんにやく教室	11月26日	1	18	18
天座地区に残る大江山鬼退治伝説	7. 20	1	10	10
地域ふれあい講座	10. 4	1	21	21

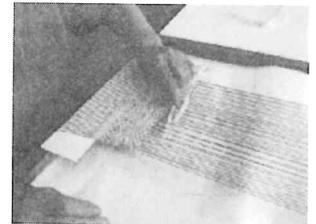
7
205



たのしい和菓子作り



たのしい和菓子作り



エコ・ECO教室



大江高校吹奏楽部



ふるさと再発見いろり
ばた～温故知新～



手作りこんにやく



手作りこんにやく



天座地区に残る大江山
鬼退治伝説



地域ふれあい講座

◎共に幸せを生きるまちづくり人権講座

開設時期	学習テーマ	講師	受講者数
8月4日(日)	日本の歴史に魅せられて	旭堂 南春	20
11月17日(日)	健康づくりは笑いから ～共に幸せを生きる社会をめざして～	たつきゆうさん	70



◎北陵人権を考える会

開設時期	テーマ	講師	受講者数
中止			

◎クラブ活動

クラブ名	開設時期	会員数	延べ参加者数	代表者
陶芸クラブ	休止	5人		

北陵地域公民館運営協議会の活動

令和元年

- 3月25日 北陵地域公民館運営協議会総会開催(30年度事業報告・決算報告)
- 5月20日 北陵地域公民館運営協議会総会開催(元年度事業計画・予算計画)
- 6月 9日 グラウンドゴルフ大会中止(降雨にて)
- 10月18日 北陵地域「公民館まつり」実行委員会開催
- 11月 2日 グラウンドゴルフ大会開催(参加者30名)
- 11月17日 北陵地域「公民館まつり」開催

令和2年

- 2月 日 北陵地域「雪まつり」中止

令和元年度をふりかえって

－北陵地域公民館－

【一般事業・講座】

令和元年度の北陵地域公民館の一般講座は新規・継続含め8講座開催しました。継続講座として「たのしい和菓子作り」「えこ・ECO教室」「ふるさと再発見いろりばた」を開催し、受講者が地域内のみならず地域外からも参加されました。新規講座として、「天座地区に残る大江山鬼退治伝説」を開催したところ、天座文化財保存会の方の源の頼光の大江山にまつわる伝説のおもしろい語りと、地域で保存している福知山市有形文化財の「般若心経写経600巻」を拝観する貴重な体験ができ、受講者も非常に熱心に質問などされていました。また復活した地域伝統食品の「雲原こんにやく」の独特の製法を学ぼうと定員を超えても参加希望があり、受講された方々は和気藹々の中、真剣に受講され非常に満足されていました。今後も継続講座と合わせて、地域の匠を発掘して地区ごとの特色を発信し、地域の伝統・芸能・文化を学び、地域全体で未来に引継ぐ講座も計画いたします。

北陵地域公民館運営協議会の主催として、「グラウンドゴルフ大会」を今年度も2回経過牛ましたが、1回目は雨で中止でしたが、2回目の大会では地域の子供から年配者まで30名の参加があり、日頃ふれあう事が無い年代や地域の方々とスポーツでプレーを通じて目標を共有共感する、大変良い交流となりました。

11月開催の「北陵地域公民館まつり」は、地域の方の協力で、非常にりっぱな農産物を多数出品いただき、販売可能農産物は販売開始と同時にすぐ売り切れとなりました。また、新しく催しの形態とし【共に生きるまちづくり人権講座】の一講座を午前中に開催したところ、単独講座では中々受講者が集まりにくいのですが、「公民館まつり」として来場されている方々が受講参加いただき多くの受講者で大変賑わいました。年代を超えた多くの方々が一緒になって笑ったり健康体操に参加されているのを見て、講座催しを考える上での手ごたえを感じました。「公民館まつり」開催時に毎年行っている「はなはな募金」は29,642円と多くの方に募金をしていただきました。

雪まつりについて、市内で唯一スキー場がある当施設では、開催すれば多くの来場者が地域内外から参加される催しですが、30年7月豪雨被害により、施設利用の制限から、開催場所の天ヶ峰スキー場も使用出来ない状態のため、本年度の開催も中止と致しました。

【共に幸せを生きるまちづくり人権講座・北陵人権を考える会】

「共に幸せを生きるまちづくり人権講座」は「日本の歴史に魅せられて」のテーマでアメリカ合衆国出身の講談師 旭堂南春さんを講師に招き、外国文化を学び、お互いの理解を深めることを学び、日本の伝統芸能の「講談」をご披露いただきました。また「健康づくりは笑いから～共に幸せを生きる社会をめざして～」のテーマで京都大学卒業の大道芸人たつきゆうさんによる、笑いを活かすユーモアセラピーの活動に力を入れられ、統計学に基づく笑いの効用に注目され、大道芸人として養った笑いの技術と心身の健康をサポートする体操の披露で会場全体が笑いっぱい講座となり、参加者は大変有意義な時間を過ごされました。

【心の教育実践活動発表】

北陵地域内に学校が無いため、子供達と地域のふれあいは、催しやイベントを通じて交流する機会を設ける必要がある。また金山地域は地域内で小学校・中学校共、学区が二つに分かれていて、同じ地域内なのに子供間の交流も無い状況であり、なお更その必要性がある。それぞれの地区の伝統的な行事参加で子供達が地域の中に入っていき、交流できる機会を設けて気兼ねなく話をし、お互いに協力しあえる関係の構築、さらに学習することを目的として、それぞれの行事催しを計画いたしました。中止になった催しもあったが、それぞれの行事では、親子及び地域内外の大人たちと一緒に活動を行い、家族も地域も絆を深めることができ、また、日ごろ出会う機会の無い子供同士の交流も図ることができました。地域の方々の絆やボランティア活動にふれあい、子供たちは将来いろんな経験を活かして、地域を盛り上げて行ってくれる人材として成長してくれることを期待しています。

北陵地域公民館・体育館利用状況

平成31年1月～令和元年12月

月	開館日数	公民館					体育館							運動場	総計	1日平均									
		会議室	実習室	共用	研修室			調理室	図書室	合計	バレーボール	バスケット	卓球				バドミントン	剣道	その他	合計					
1	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	
2	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	15	0.65
3	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	32	1.23
4	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	200	8.33
5	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
6	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	38	2.04
7	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	60	3.00
8	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	23	0.92
9	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	120	6.88
10	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	214	8.56
11	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	300	2.09
12	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	15	0.65
計	288	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	538	2.92
平均	24.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.58	24.25	0.24

令和元年度 第2回市立公民館運営審議会（2月20日）資料

六人部地域公民館

1 令和元年度事業（取組）の重点

地域と共に熱意と情熱を持って「打てば響く公民館」の確立を方針に、「六人部はひとつ」の理念のもと、「いつでも」「どこでも」「誰でも」が学べる生涯学習の拠点となり、自発的な学習活動への情報提供と学習成果の活用を図る。

◎ 地域公民館のステータスの向上

- ・ 「地域づくりの要」という事を自覚する。
- ・ 公民館職員は、施設の単なる管理人ではなく公民館活動・講座等のプロデューサーとしての役割を自覚する。

- ・ 情報の発信・・・冊子「発信」参照



六人部地域公民館

市立公民館としての業務

- * 公民館事業（一般講座等）企画・立案
- * コミセン施設に対する貸館業務（予約受付・納入通知書の発行等）
- * コミセン施設の管理（点検・清掃）
- * コミセン職員による消防訓練（年2回）

六人部地域公民館運営協議会
事務局としての業務

- * 運協事業打ち合わせ会 1回
- * コミセンまつりの企画・立案
- * コミセンまつり実行委員会全体会議及び各部会会議 8回
- * 総会 2回
- * 運協感謝状贈呈式 1回

六人部地域人権教育推進委員会
事務局としての業務

- ・ 事業（視察・講座）企画・立案
- ・ 主催人権講座 1回
- ・ 共催人権講演会 2回
- ・ 視察研修 1回
- ・ 支部長、副支部長会 2回
- ・ 総会 2回

六人部フロック「心の教育」実践活動実行委員会
事務局としての業務

- * 街頭啓発活動（挨拶運動・家族だんらんの日）毎月11日（基準）
- * 家族だんらんの日啓発事業 1回
- * 「心の教育」実践発表会 1回（六人部小）
- * 世代間交流・花いっぱい運動 6回（中学校・小学校・4保育園）
- * 地域未来塾開設 37回（閉講日：2月27日予定）

3 成果と課題（次年度に向けて）（記載日：令和2年1月24日）

(1) 総会関係（成果）

- * 前年度中(31.01.28)に六人部地域に係わる主要な事業の調整会議を開催(参加者:各地区公民館長・主事・自治会長会代表、中学校長、小学校長、4保育園長、及び各地区の六人部地域人権教育推進委員会支部長、並びに事務局の地域公民館館長・主事)し、年度始め総会時に年間事業・行事等の期日、内容を委員の皆様把握・理解して頂くことができ、事業が整齊円滑に今年度も実施することができました。
- * 運営協議会の年度末総会を令和2年3月27日に実施しますが、その際、運営協議会委員の中で、永年の功績者に対し感謝状を今年度は、6人の方に贈呈を計画しております。
- * 六人部地域人権教育推進委員会の年度末総会を令和2年3月13日に今年度会員数356人を対象に計画しております。多くの人と共に六人部の人権文化の構築ができるものと考えております。

(2) 人権講座関係（成果）

- * 6月の毎週水曜日に3回連続で人権講演会を六人部地域公民館研修室で行い、延べ人数368人と多くの参加をいただき熱心に学習に取り組むことができました。

(3) 視察研修関係

ア 六人部地域人権教育推進委員会視察研修(三重県人権センター)（成果・課題）

- * 62名の参加を得て三重県津市の三重県人権センターで研修を行い、人権意識の高揚が達成できたのではないかと感じます。
- * 研修先の選定において、受入施設・駐車場・昼食場所等、参加人数が多いため限られてくるのが大きな課題である。

イ 女性のつどい視察研修(舞鶴ふるるファーム)（課題）

- * 毎年、人気のある事業ですが、今年度は人数が揃わず中止といたしました。視察のために必要な「福祉バス」の使用統制が厳しすぎるのは問題があり、「広報バス」が廃車になった今、「広報バス」の役割を満たすのも大事だと感じます。

(4) 「心の教育」実践活動関係

ア 世代間交流・花いっぱい運動（成果）

- * 小学校・中学校の児童生徒や保育園の園児との共同作業によって、ふるさとを愛する心豊かな人材育成の推進を図ることができました。また、「地域で子どもを育て、守っていく」という連帯感を高めることができました。

イ 「あいさつ運動」・「家族だんらんの日」啓発活動（成果）

- * 事業調整会議により、六人部ブロック「あいさつデー」の期日を決定し、各地区公民館、学校、保育園の協力体制の中で啓発・推進活動を積極的に実施できました。

ウ 「心の教育」実践発表会（成果）

- * 11月に「心の教育」実践発表会を六人部小学校において「ともだち～大切なたからもの～を元気いっばいに発表してくれました。参観者からは「素晴らしい」「感動した」「涙が出た」など称賛の声がいっばい聞かれた「心の教育」実践発表会(全校ミュージカル)でした。

エ 「地域未来塾」関係（成果）

- * 9月18日に開講し、2月27日に閉講予定ですが、今年度も支援員の先生方の熱心な指導により所期の目的(経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難あったり、学習習慣が十分に身についていない中学生への学習支援を実施する。)・目標(学習が遅れがちな中学生に対して学習習慣の確立と基礎学力の定着、義務教育終了時に必要な学力、高等学校進学後に必要な学力・学習習慣の獲得)を達成されたと感じます。

(5) 第34回コミセンまつり（成果）

- * 各部会等の会議を含め事前準備がしっかりとでき、当日は天候に恵まれ約2,000の方が訪れました。「六人部はひとつ」の理念のもと素晴らしいコミセンまつりを行うことができました。

(6) 一般講座関係（成果）

- * 今年度は10講座、36回の教室を計画・実施する中で、地域内外を問わず延べ受講人数403人の参加をいただきました。中でも平成23年度から9年連続で開講している「楽しい陶芸教室」は、毎回全員の10名が参加し、一般講座への初めての参加者が60%、全般的に講座の参加率が低い男性の参加が60%の数字を得ることができました。次年度も色々な年齢層の方に数多く参加して頂けるような新たな挑戦と交流を深める事のできる講座を目指し計画・実施に努めて参りたいと考えています。

六人部地域公民館

◎ 一般事業・講座

教室・講座	開設時期	回数	受講者(受付)			受講延人数	
			人数	地域内	地域外		
一般講座	健康体操教室	5月	3回	10人	90%	10%	26人
	中学校で学ぶパソコン教室	5月～7月	6回	15人	40%	60%	69人
	かんたんエアロ教室	6月	3回	18人	44%	56%	41人
学ぶ楽しさ	親子(幼児)で学ぶ英語教室	6月	4回	20人	60%	40%	60人
	ヘルシークッキング教室	6月～9月	4回	11人	82%	18%	40人
	リラックスヨガ教室	7月	4回	29人	52%	48%	78人
生かす喜び	小学生の楽しい英語教室	7月	4回	10人	20%	80%	28人
	親子(小学生)で楽しむ科学教室	8月17日	1回	21人	14%	86%	14人
	楽しい陶芸教室	8月～10月	3回	11人	27%	73%	30人
	初心者の茶道教室	9月	4回	6人	33%	67%	17人

10
403

事業	開設時期	回数	参加者	参加延人数
世代間交流「花いっぱい運動」	5月～6月	6回	—	494人
心の教育実践発表会 会場：六人部小学校体育館	11月16日	1回	909人	909人
共に幸せを・・・人権講座 会場：六人部地域公民館研修室	6月12日 6月19日	2回	118人/120人	238人
六人推主催人権講演会 会場：六人部地域公民館研修室	6月5日	1回	130人	130人
六人推視察研修 研修先：三重県人権センター	12月3日	1回	62人	62人
第34回六人部コミセンまつり	10月27日	1回	約2,000人	約2,000人



(健康体操)



(パソコン)



(エアロ)



(親子英語)



(ヘルシー)



(ヨガ)



(小学英語)



六人部地域公民館



(親子科学)



(陶芸)



(茶道)

◎ 世代間交流・花いっぱい運動の様子

参加人数：494人

実施日	実施内容	実施場所	参加人数
6月12日	* 手遊び歌 * 花の苗植 * 感想交流	六人部小学校 ・3年生児童・保護者・教員 ・地域住民・地域公民館	130人
5月24日	* 花の苗植 * ふれあいあそび * ふれあい給食	上六人部保育園 ・全園児・職員 ・民生児童員・地域公民館	86人
6月5日	* リズム体操 * 花の苗植	中六人部保育園 ・5・4・3歳児・職員 ・地域住民・地域公民館	52人
5月18日	* ふれあい体操 * 花の苗植	下六人部保育園 ・年長組園児・職員 ・保護者・地域公民館	81人
5月21日	* 花の苗植 * ふれあいあそび * ふれあい給食	光保育園 ・5・4歳児・職員 ・駒場新町老人会・地域公民館	62人
6月17日	* 花の苗植 * 吹奏楽演奏	六人部中学校 ・生徒(環境委員、吹奏楽部)・教員 ・民生児童委員・地域公民館	83人



(上六人部保育園)



(六人部小学校)



(六人部小学校)



(中六人部保育園)



(下六人部保育園)



(六人部中学校)



(六人部中学校)



(光保育園)

◎ 人権講座（六人部主催人権講演会・共に幸せ・・・人権講座）聴講者数：368人

実施日所	学習テーマ(演題)	講師	聴講者数
6月5日(水) 六人部地域公民館	手話と歌で笑顔になろう	yokko(よっこ)さん	130人
6月12日(水) 六人部地域公民館	部落問題と向き合う私たち	石井 眞澄さん 石井 千晶さん	118人
6月19日(水) 六人部地域公民館	共に幸せを生きる社会へ ～学習障害から考える人権～	南雲 明彦さん	120人



(yokko よっこさん)



(石井眞澄・千晶夫妻)



(南雲明彦さん)



(#1人権講演会)



(#2人権講演会)



(#3人権講演会)

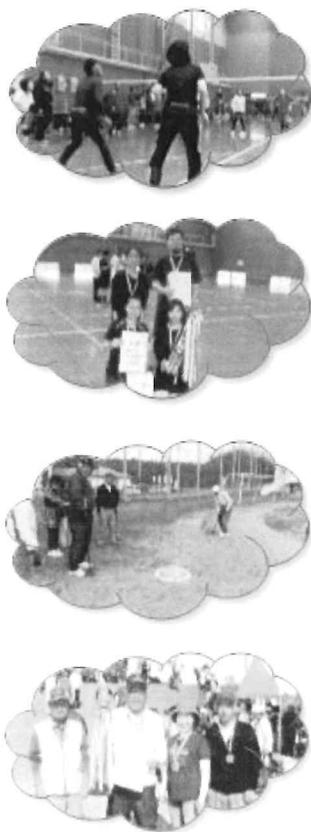
◎ 第34回六人部コミセンまつり（令和元年10月27日）

文化やスポーツで交流する第34回「六人部コミセンまつり」が天候に恵まれ、約2,000人が次つぎと訪れ賑わいました。

「六人部はひとつ」のスローガンのもと上六、中六、下六地区の住民の連帯感を高め、交流するのが狙いとし、コミセン内には毛筆習字、案山子・クレイアート、手芸、陶芸、川柳などコミセン同好会作品・令和元年度一般講座生徒作品ならびに地域の人たちの作品のほか小中学生作品、上・中・下・光保育園年長組園児の素晴らしい作品(テーマ:四季を通して元気に遊び・学ぶ六人部の園児たち)を展示。屋外では、六人部中学校PTAうどんコーナーやフリーマーケット・防犯の啓発コーナー等があり、人気を集めました。また、六人部中学校で行ったグランドゴルフも多数の選手が楽しく参加。上六人部地区いきがいAチームが優勝。個人では、いきがいAの今川佳代子さんが優勝しました。体育館では親善ビーチボールバレー大会があり下六人部地区 上松チームが栄冠を手に入れました。

午後からは2階研修室で演芸会があり、塩見正仁先生指導の六人部コーラスをはじめ、コミセン同好会のオカリナ演奏、フラダンス・タヒチアンダンスの披露並びに舞踊、詩吟・剣舞、カラオケ、下六人部民生児童委員の皆様の銭太鼓、今年4月より六人部コミセン施設内に開設された六人部包括支援センター職員による「ふくちライフ体操」の披露など満席の会場が一体となる演芸会でした。

◎ 第34回六人部コミセンまつり（令和元年10月27日）の様子



令和元年度をふりかえって



—六人部地域公民館—

【講座・教室】

今年度はシニア層を対象とした「健康体操教室」、幼児と保護者を対象とした「親子で学ぶ英語教室」、小学生低学年と保護者を対象とした「親子で楽しむ科学教室」の新規講座を含め10講座、36回の教室を計画・実施する中で、地域内外を問わず延べ受講人数403人の参加を頂き、有意義な講座を実施することができました。中でも平成23年度から9年連続で開講している「楽しい陶芸教室」は、毎回全員の10名が参加し、一般講座への初めての参加者が60%、全般的に講座の参加率が低い男性の参加が60%の数字を得ることができました。次年度も色々な年齢層の方に数多く参加して頂けるような新たな挑戦と交流を深める事のできる講座を目指し計画・実施に努めて参りたいと考えています。

【人権に関すること】

6月を人権講演会月間と位置づけ毎週水曜日、3回連続で人権講演会を六人部地域公民館研修室において実施致しました。1回目は六人部地域人権教育推進委員会主催人権講演会として、2・3回目は共に幸せを生きるまちづくり人権講演会を行い、延べ人数368人と多くの参加をいただき熱心に学習に取り組むことができ六人部地域の人権意識の高揚と人権文化の構築ができたものと確信いたします。

12月に実施した六人部地域人権教育推進委員会主催視察研修は、62名の参加を得て三重県津市の三重県人権センターで研修を行い、子どもから大人までの全ての人を対象に人権問題をわかりやすく理解するため、三重県内の歴史的事実や生活文化に焦点を当てた資料展示及び被差別の立場におかれた人々の姿から差別の事実を正しく伝え、そのなかで差別を克服していく歩みと人権尊重の思想を紹介している三重県人権センターの研修を通して「共に幸せを生きるまちづくり」の大切さを学習する。研修目的が達成できたのではないかと感じます。次年度も更に人権に対する意識が高まるように努めて参りたいと考えています。

【心の教育実践活動】

「あいさつ運動」・「家族だんらんの日」推進活動を毎月11日を基準に実施しました。

「世代間交流・花いっぱい運動」では、小学校・中学校の児童生徒や保育園の園児との共同作業によって感動やふれあいのある様々な体験活動を通して、ふるさとを愛する心豊かな人材育成に寄与することができました。

11月に「心の教育」実践発表会を六人部小学校に全面的にお世話になり、全校児童全員によるミュージカル「ともだち」～大切なたからもの～を元気いっぱいに発表してくれました。500人近い参観者からは「素晴らしい」「感動した」「涙が出た」など称賛の声がいっぱい聞かれた「心の教育」実践発表会(全校ミュージカル)でした。



六人部地域公民館・体育館・運動場利用状況

平成31年1月～令和元年12月

月	開館日数	公民館						体育館							運動場	総計			
		研修室	会議室	和室	調理室	実習室	図書室	その他	合計	ソフトボール	バレー	テニス	バドミントン	バスケット			空手	その他	合計
1月	23	209	121	21	0	28	6	19	404	43	16	88	34	227	10	223	641	131	1,176
2月	23	213	126	54	0	49	10	23	475	66	33	106	114	215	0	27	561	273	1,309
3月	26	203	103	16	0	55	21	46	444	119	101	44	44	230	49	311	898	334	1,676
4月	22	180	44	21	6	42		51	344	124	33	38	38	285	40	56	614	375	1,333
5月	21	147	43	10	12	41		29	282	157	49	28	37	385	30	55	741	459	1,482
6月	26	545	53	20	38	58		14	728	224	28	32	46	354	40	59	783	373	1,884
7月	25	208	50	108	109	47		330	852	157	65	43	38	320	56	66	745	488	2,085
8月	25	142	60	65	15	39		10	331	85	95	32	48	111	12	26	409	326	1,066
9月	24	270	275	161	34	54		23	817	125	39	34	44	257	37	42	578	388	1,783
10月	25	404	460	609	86	527	103	48	2,237	324	39	31	44	168	48	435	1,089	275	3,601
11月	23	314	339	43	171	191		20	1,078	146	72	24	54	232	45	207	780	268	2,126
12月	23	82	161	78	29	41		24	415	106	65	65	38	317	0	57	648	218	1,281
計	286	2,917	1,835	1,206	500	1,172	140	637	8,407	1,676	635	565	579	3,101	367	1,564	8,487	3,908	20,802

令和元年度 第2回市立公民館運営審議会(2月20日)資料

成和地域公民館

1 令和元年度事業(取組)の重点について

福知山市教育委員会の社会教育の重点・市立公民館の活動の重点・福知山市「心の教育」実践活動実行委員会方針等に基づき、成和地域住民の『交流の場』として、子どもから高齢者まで誰もが気軽に「集い」「学び」、人と人との絆や地域の絆を深める「絆づくりの場」となるよう『笑顔あふれる公民館活動』を推進していく。

- (1) 地域住民の交流事業を通して、地域・学校・家庭や関係機関と連携しながら、世代間交流に取組み、やさしく思いやりのある「絆」の大切さを学べるような事業の推進に努める。
- (2) 各種の事業や講座・教室を実施し、世代を超えた交流を深め、活動の輪を広げられるように事業の活性化を図る。
- (3) 地域人材の活用と指導者育成を積極的に進める。
- (4) 「コミセンだより」等を通して広報活動を行い、行ってみたい、参加してみたいと思える事業を実施する。

2 事業の概要及び特徴的な事業等について

(1) 成和地域公民館運営協議会の事業(年間16事業)

ア コミセンふれあいまつり(11月) ※各地区公民館協力

イ コミセン杯各種球技大会 ※各地区公民館協力

○ゲートボール大会(6月)

○成人男子ソフトボール大会(7月)

○成人女子ビーチボールバレー大会(7月)

○成人女子バレーボール大会(9月)

○高齢者グランドゴルフ大会(10月)

ウ 文化的事業

○コミセン杯将棋大会(2月)

○お花見囲碁大会(4月) 〈コミセン後援〉

エ コミセン清掃活動〈ボランティア〉

○周辺草刈作業(6月・8月)……成和地域41自治会より1名参加

○清掃活動(6月・11月)……地元老人会による奉仕活動

○グランド使用団体による奉仕活動(5月)

オ 子ども交流大会(10月)

カ その他の事業

○総会(4月・2月)

○幹事会(8月)

○事業検討会(3月)

○コミセンふれあいまつり実行委員会(9月・10月)

(2) 講座・教室の開催

◎全体で10講座(教室) 32回実施予定

①『人形作り教室』

②『ヨガ教室』

③『チョークアート教室』(新規)

④『簡単エアロ教室』

⑤『小中学生将棋教室』(新規)

⑥『三線教室』

⑦『そば打ち教室』

⑧『親子工作教室』

⑨『バドミントン教室』(新規)

⑩『手作りパン教室』

(3) 青少年の健全育成「心の教育」実践活動

ア 各地区役員等による「あいさつ運動」(毎月11日)

イ 家族だんらんの日(家庭・学校・地域住民が一体となった取組)

ウ 地域未来塾(9月から2月まで実施予定)

エ 親子参加の夏休み講座(親子工作教室)

オ 子ども交流大会

カ 「心の教育」実践活動発表会

※各校での学習発表会・文化祭とコミセンふれあいまつりでの作品展示・人権講演会

キ 家庭で取組む食育活動

ク 各地区公民館の事業(親子参加の事業・世代間交流事業)

○烏帽子ヶ岳ウォーク(上豊富) ○姫髪山親子登山(修斉) ○親子水質観察会(天津)等

(4) 人権教育の推進

ア 共に幸せを生きるまちづくり人権講座(6月28日実施)

イ 各地区公民館・小中学校主催の人権講演会

(5) 各種クラブ・サークル活動(約40団体)への支援

(6) その他

3地区公民館(上豊富・修斉・天津)との連携と研修会(4館合同研修会)の実施

3 成果と課題(次年度に向けて)

(1) 公民館運営協議会事業

○年間16事業のうち、体育的事業であるコミセン杯球技大会は、成人女子バレーボール以外は実施できた。これらの事業(文化的事業を含む)は開設以来実施してきたが、年々参加者が減ってきており来年度の実施が危ぶまれるものもある。地域の皆さんの交流と健康増進に貢献している事業なので今後も実施していきたいが、実施時期や内容等(地区公民館と重なる事業もある)の見直しを図っていきたい。

○「コミセンふれあいまつり」は多くの方に来場していただいている。早くから広報などで出品依頼をしているが、展示作品が減ってきている。地域ではいろんな作品を作られている方もおられるので、募集方法も含め検討する。今後は新しいものを取り入れるなどして来場者を増やしていきたい。

○参加チームが減り実施できなくなった少年少女球技大会を廃止し、「子ども交流大会」を実施したが、予想を上回る参加者で大変盛り上がった大会となった。

○毎年成和地域の各自治会をはじめ、利用団体等多くの方に公民館の清掃活動をお世話になっている。地域の皆様に支えられていることを実感している。

(2) 講座・教室の開催

○今年度は新たに「チョークアート教室」・「バドミントン教室」・「小中学生将棋教室」の3講座を開講し、10講座32回の教室を計画・実施し、延べ427名に参加していただいた。今年度は学習情報誌を見ていただいたのか成和地域以外の参加が多かった。年々受講される方が高齢化する中、今年は子どもや若年層にも参加していただけるように新たな講座を入れたので、小学生や親子連れの参加が増えた。今後も幅広い年齢層に参加していただけるような講座を考えていきたい。また、講座に参加した人たちでサークル活動につながるような講座を開設していきたいと思う。

(3) 青少年の健全育成「心の教育実践活動」の取組

○毎月11日を『いい日あいさつデー』として各地域において各種団体役員の皆様・教職員及び保護者、児童生徒たちが通学路や校門前に立ち大きな声であいさつを交わした。

○『家族だんらんの日』の取組は、各園・各学校、各地区公民館、地区の各種団体が連携し、それぞれの事業で工夫を凝らした活動を実施していただいた。これらの各事業を通して、学校・家庭だけでなく地域一体となった交流でさらに絆が深まったように感じる。また、各地区において故郷に愛着心や誇りを持たせる取組も進めていただいている。

○5年前から学校ごとに「心の教育実践活動発表会」を実施し、多くの保護者や地域の皆さんに参加してもらうことで、「心の教育」のすそ野を広げることができた。「コミセンふれあいまつり」では、各園・各校の取組を模造紙にまとめ、多くの方に見ていただいた。

○子どもたちは各種事業を通して、人と人とのふれあいの大切さや地域の方々に温かく見守られていることを実感することが多かった。

○今年で4年目になる「地域未来塾」。今年は11人の学習支援員、生徒12人が参加した。生徒たちにとってはこの「地域未来塾」が学習する場だけでなく、支援員と心の交流ができる「心の居場所」になっている。

○「心の教育実践活動」は今後も学校・家庭・地域が一体となり、充実した取り組みを進めていきたいと考えている。

(4) 人権教育の推進

○6月に認知症カフェ「ここあん」代表の山崎敬一さんを講師に迎え、『「介護」という名の贈り物～認知症の妻と歩んだ14年～』の演題で講演会を実施した。65名の参加者があり、若くして認知症になられた奥様の介護体験を通して学んだ多くのことをお話しいただいた。認知症になっても、できるかぎり住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域づくりについて資料をもとに提言していただいた。

○各地区公民館でも、それぞれ講演会を実施し、学びと交流を通してお互いの人権を尊重することの大切さを学んだ。

(5) その他

○3地区公民館との連携と研修会を今後も続けていきたい。

成和地域公民館

◎一般事業・講座

事業及び教室・講座名	開設時期	回数	受講者数	受講延人数
三線教室	6月～9月	4回	11人	33人
ヨガ教室	6月～8月	5回	22人	91人
手作りパン教室	6月・9月	2回	16人	16人
チョークアート教室	9月～12月	3回	6人	15人
簡単エアロ教室	9月～11月	5回	26人	108人
親子工作教室	7月	1回	12人	12人
そば打ち教室	9月～12月	4回	5人	10人
バドミントン教室	9月～1月	4回	17人	40人
小中学生将棋教室	11月～12月	3回	30人	93人
人形作り教室	1月	1回	8人	9人
心の教育実践活動発表会	11月2日・11日	2回	—	1,857人
コミセンふれあいまつり	11月24日	1回	—	約1,200人

10
427



〈簡単エアロ教室〉



〈チョークアート教室〉



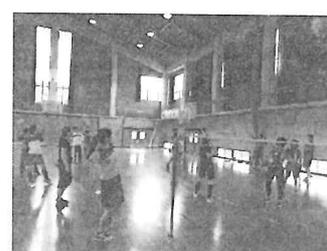
〈手作りパン教室〉



〈親子工作教室〉



〈ヨガ教室〉



〈バドミントン教室〉

◎共に幸せを生きるまちづくり人権講座

実施日	学習テーマ	講師	受講者数
6月28日(金曜日)	『「介護」という名の贈り物』 ～認知症の妻と歩んだ14年～	山崎 敬一 さん	65人

運営協議会の活動

【成和コミセンふれあいまつり】

今年で33回となる「成和コミセンふれあいまつり」を盛大に開催することができました。当日は天候が心配されましたが早朝から多くの方に来場していただきました。

今年は昨年の課題を生かし、演芸発表と作品展示は体育館で実施しました。福知山淑徳高等学校和太鼓部の威勢のいい演奏で開幕しました。開会前には今年から開設された「地域包括支援センター」の紹介と職員と参加者全員による「ふくちライフ体操」でリラックスしました。

ミニ電動列車やバルーンアート、綿菓子体験等子どもには大変好評で、親子連れで来場される方も多かったです。成和地域以外の市民の参加も多く、餅つきのコーナー等では長蛇の列となりました。地域内の6保育園・3小学校・1中学校の作品展示と地域の方の作品展示では、素晴らしい作品に見入る人が多く、また演芸発表では、グループや個人の練習の成果の場となりました。その他地元の新鮮野菜の販売、地域包括支援センターの相談コーナー、天津キッチンのパン販売等たくさんの催し物で賑わいました。

毎年地区公民館の役員様には前日準備から当日の運営、後片付けまでお世話になり感謝しています。

課題を整理し、次年度はさらに多くの方に参加していただけるよう企画していきたいと思ひます。



【体育事業活動】

今年はずべての事業が好天に恵まれ、各世代から多くの参加者を得て実施することができました。どの事業もコミセン開設以来実施されてきたものですが、年々参加者が減ってきているのが現状です。地域の皆さんの交流と健康増進に貢献している事業であり、今後も実施していきたいと思ひます。

(1) コミセン杯争奪ゲートボール大会

- 開催日 6月10日(月)
- 参加者数 8チーム 43人
- 成績 優勝 修齊 B チーム
準優勝 上豊 A チーム
3 位 修齊 A チーム



(2) 成人球技大会

- 開催日 7月 7日(日)
- 参加者数 <男子ソフトボール> 3チーム 27人
<女子ビーチバレーボール> 12チーム 42人
- 成績 ◇男子 優勝 畑中
準優勝 かしの木台 A チーム



- 3 位 かしの木台 B チーム
- ◇女子 優勝 畑 中 A チーム
- 準優勝 茅ノ台 A チーム
- 3 位 茅ノ台 B チーム

(3)子ども交流大会<スポーツ鬼ごっこ>

- 開催日 10月22日(火)
- 参加者数 8チーム 73人
- 成績 優勝 修斉野球チーム
- 準優勝 上豊ボアーズ



※地域内の子どもたちの交流の場として初めて実施しました。小学1年生から6年生が参加し、大変盛り上がった大会となりました。当初予定していた人数よりも多くの児童が参加してくれました。



(4)高齢者グランドゴルフ大会

- 開催日 10月25日(金)
- 参加者数 172人
- 成績 優勝 安達 繁和
- 準優勝 蘆田 清一
- 3 位 芦田 信夫
- 4 位 佐々木 覚
- 5 位 足立 富雄



※成人女子バレーボール大会は参加チームが少なく中止となりました。

【文化事業活動】

例年実施しているコミセン杯囲碁大会は参加者が少なく中止としました。その代わりに4月実施の「お花見囲碁大会」(修斉囲碁クラブ主催)を後援することになりました。

コミセン杯将棋大会は2月9日に計画していますが、今年は「小中学生将棋教室」を開講したので、多くの児童が参加してくれます。

【奉仕活動】

成和地域の41自治会役員様にはコミセン周辺の草刈り(6月と8月の2回実施延べ80人参加)、拝師老人会共生会様(7月と11月の2回実施延べ30人参加)には本館周辺の庭木の剪定や草引き、修斉野球クラブ様(子どもと保護者60人)にはグランド整備、日本空手道山桜会様(子どもと保護者100人)には体育館や玄関、トイレ掃除等多くの方のご協力により綺麗にさせていただきました。例年のご尽力に対してお礼を申し上げます。本公民館は本当に地域の皆様に支えられていることを実感しています。



<周辺の庭木選定と草引き>



<コミセン周辺草刈り>



<体育館等の清掃>



<グランド整備>

【一般講座・教室】

今年度は新たに「チョークアート教室」・「バドミントン教室」・「小中学生将棋教室」の3講座を開講し10講座、32回の教室を計画・実施し、延べ427人に参加いただきました。今年度の傾向として学習情報誌を見ていただいたのか成和地域以外の参加が多かったです。



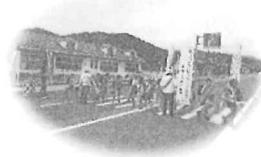
年々受講される方が高齢化する中、今年は子どもや若年層にも参加できるように新たな講座を入れましたので、小学生や親子連れの参加が増えました。今後も幅広い年齢層が参加できる講座を考えていきたいと思ひます。また、講座に参加した人たちでサークル活動につながるような講座も開設していきます。

どの講座も皆さん意欲的に取り組まれ、それぞれの講座の狙いが達成できたと思ひます。今後も市民の皆さんの要望に沿えるような講座を開設し、生涯学習に寄与できるようにしていきたいです。

また、今年も2講座以外は講師を成和地域の方をお願いしましたが、今後も講座を通して地域住民の交流を図り、新たな人材を発掘・育成していきたいと思ひます。

【心の教育実践活動】

毎月11日を『いい日あいさつデー』として各地域において各種団体役員の皆様・教職員及び保護者、児童生徒たちが通学路や校門前に立ち、笑顔と大きな声であいさつを交わしています。また、各小学校では地域の皆様が毎日登下校時に付き添っていただいたり、声掛けをしていただいたりして、安心・安全な学校生活を送っています。



『家族だんらんの日』の取組は、各園・各学校、各地区公民館、地区の各種団体が連携し、それぞれの事業で工夫を凝らした活動を実施していただいています。これらの各事業を通して、学校・家庭だけでなく地域一体となった交流でさらに絆が深まったように感じます。また、各地区において故郷に愛着心や誇りを持たせる取組も進めていただいています。

成和ブロック教育研究会の事業として、「ようこそ先輩！」(3回シリーズ)を実施しました。この事業は、成和ブロックの児童生徒に、文武両面の最先端で活躍する同郷の卒業生から小・中学校時代に頑張ってきたことや将来展望をもって学習や生活に向かう大切さ等を語っていただきました。児童生徒自身のキャリア教育の一環として実施しました。

5年前から学校ごとに「心の教育実践活動発表会」を実施し、多くの保護者や地域の皆さんに参加してもらうことで、「心の教育」のすそ野を広げることができました。「コミセンふれあいまつり」では、各園・各校の取組を模造紙にまとめ、多くの方に見ていただきました。

子どもたちは各種事業を通して、人と人とのふれあいの大切さや地域の方々に温かく見守られていることを実感することが多かったと思ひます。

今年で4年目になる「地域未来塾」。学習習慣を十分に身につけさせたい中学3年生を対象に9月から2月末までしました。生徒の参加率も高く、毎回多くの学習支援員と意欲的に学習に取り組んできました。今年も11人の学習支援員、生徒12人が参加しました。生徒たちにとってはこの「地域未来塾」が学習する場だけでなく、支援員と心の交流ができる「心の居場所」になっています。

この「心の教育実践活動」は、今後も学校・家庭・地域が一体となり、充実した取り組みを進めていきたいと思ひます。

【共に幸せを生きるまちづくり講座】

6月28日に認知症カフェ「ここあん」代表の山崎敬一さんを講師に迎え、『「介護」という名の贈り物～認知症の妻と歩んだ14年～』の演題で講演会を実施しました。多くの参加者があり、若くして認知症になられた奥様の介護体験を通して学んだ多くのことをお話しいただきました。認知症になっても、できるかぎり住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域づくりについて資料をもとに提言していただきました。



各地区公民館でも、それぞれ講演会を実施し、学びと交流を通してお互いの人権を尊重することの大切さを学びました。

成和地域公民館利用状況

平成31年1月～令和元年12月

令和2年1月5日単位…人(回)

施設 開館 日数	公民館(センター)						体育館										運動場			総計			
	会議室	研修室	和室	調理室	実習室	合計	ビーチソフト	バスケット	バレーボール	ソフテニス	バドミントン	空手	卓球	インディアカ	その他	合計	野球	G・G	合計	回	人数		
1	142	14	26	13	84	279	8	16	79	12	0	96	28	48	90	29	250	343	593	85	1249		
2	147	16	75	11	100	349	22	2	16	12	15	254	25	21	503	32	349	421	770	103	1989		
3	441	25	136	21	53	676	40	18	190	16	17	163	52	58	91	50	340	500	840	137	2161		
4	363	55	30	10	83	541	47	15	79	4	24	228	53	49	77	36	716	517	1233	121	2350		
5	341	16	23	10	27	417	20	8	13	4	14	151	31	22	60	24	501	591	1092	107	1832		
6	456	34	126	21	73	710	101	24	57	12	2	194	49	56	91	46	568	663	1231	143	2527		
7	342	53	141	26	64	626	18	27	66	12	0	146	42	34	171	40	750	498	1248	129	2390		
8	457	62	33	10	70	632	20	42	263	4	0	227	56	35	102	81	703	276	979	155	2360		
9	132	46	68	59	55	360	29	25	16	0	17	248	27	37	806	47	753	1158	1911	139	3476		
10	112	38	215	19	82	466	38	33	62	0	0	175	39	51	428	42	246	537	783	105	2075		
11	471	57	24	49	54	655	19	18	304	0	12	195	26	49	212	44	279	578	857	134	2347		
	コミセンまつり						コミセンまつり(学校・園・一般展示)										0	1	1200			1	1200
12	314	48	122	19	110	613	6	51	157	0	13	98	50	53	219	48	220	457	716	117	2024		
合計	3,718	464	1,019	268	855	6324	368	279	1302	76	114	2175	478	513	2850	520	5675	6539	12253	1476	27980		
月平均	310	39	85	22	71	527	31	23	109	6	10	181	40	43	238	43	473	545	1,021	123	2,332		

令和元年度 第2回市立公民館運営審議会（2月20日）資料

三和地域公民館

○ 三和地域の概要

人口 3,287人（小中学生：128人）
 世帯数 1,665世帯
 高齢化率 45%



I 令和元年度（取組）の重点

- 1 福知山市教育委員会の社会教育の重点に基づき、市民が心豊かで充実し、生きがいを持って生活を送るために、いつでも、だれでも、どこでも、楽しく学べるように、多様な方法で学習機会を提供する。
- 2 地域の財産である子どもたちの健やかな成長を育むため、心の教育実践活動のもとで「あいさつ運動」「家族だんらんの日」等の活動に取り組む。
- 3 地域住民一人ひとりが互いの人権を認め合い、尊重し合うまちづくりを進めるため、人権学習に取り組む。

II 事業概要及び特徴的な事業について

1 講座教室の開設にあたっての留意事項

- ・新たな講座内容（フラワーアレンジメント・大正琴・うどん・スタンドグラス）
- ・講師には地元の人材の起用（今年度新たに3人）
- ・講座終了後はサークル活動として継続（今年度大正琴教室）

※受講者のニーズ把握として、アンケートを実施

◆令和元年度三和地域公民館アンケート集計表

【集計表A】（単位：人）

講座数	年齢別（人）		性別（人）	参加経験（人）	満足度（人）		講座認知経緯（人）	
	20未満	20代			満足できなかった	満足できた	情報誌	友達紹介
13 受講者数 148人	20代		男性 15	はじめて 22	1	1	情報誌	67
	30代	14			2	0	友達紹介	29
	40代	3			3	12	口コミ	6
	50代	12			4	19	市HP	7
130人 回答者数	60代	48	女性 115	複数回 108	5	98	チラシ	19
	70代	47			満足できた		無線放送	2
	80代	6						

【集計表B】（単位：%）

講座数	年齢別（%）		性別（%）	参加経験（%）	満足度（%）		講座認知経緯（%）	
	20未満	20代			満足できなかった	満足できた	情報誌	友達紹介
13 受講者数 148人	20代		男性 12	はじめて 17	1	1	情報誌	52
	30代	11			2	0	友達紹介	22
	40代	2			3	9	口コミ	5
	50代	9			4	15	市HP	5
130人 回答者数	60代	37	女性 88	複数回 83	5	75	チラシ	15
	70代	36			満足できた		無線放送	1
	80代	5						
87.3%								

特徴：受講者の7割が60歳、70歳代であり、殆どが女性である。

はじめての受講者が2割もある。

9割の受講者は満足できる内容であった。

2 子どもたちの健やかな成長を育むために

今年度、三和町内の菟原・細見・川合の三小学校と三和中学校が統合して、小中一貫校三和学園が開校したことは、地域そして児童生徒にも大きな出来事であった。

スクールバス通学は、あいさつ運動の実施にも変化をもたらし、各区公民館の主催事業で、子どもたちが大きく関わってきた運動会や敬老会にも影響を及ぼした。それでも、地域を挙げて、農業体験やふるさとに学ぶ学習など様々な事柄に、学園と協力しながら、子どもたちの健やかな成長に協力をいただいた。

三和地域公民館においても、公民館での「地域未来塾」の開設や夏休みの「わくわく体験講座」で放課後児童クラブとの連携を図ってきた。



地域未来塾



あいさつ運動

III 成果と課題（次年度にむけて）

今年度、講座や教室を実施するなかで成果として揚げられるのは、地域に残る生活や伝統文化にかかる内容で実施したみそづくり・わら細工教室などである。特別なメニューや有名な講師を招いたわけでもなく、地域に住む高齢者が、地場野菜を素材に作る季節料理や昔ながらの味噌づくりであり、伝統文化の内容であったが、受講者申し込みは募集人員を超え、中には若年層や男性も申し込まれた。

毎年、新たな講座の開設を目指しているが、三和に残る伝統文化の継承といった内容の講座を実施できる、これは地域公民館ならではのことであり、やっていかなければならないことであると強く感じ、今後も取り組んで行きたい。



味噌づくり教室



わら細工



料理教室

三 和 地 域 公 民 館

◎一般事業・講座

事業及び教室・講座名	開設時期	回数	受講者数	受講延人数
布遊び教室	10月・2月	2回	9人	18人
大正琴教室	6月～7月	5回	9人	45人
フラワーアレンジメント教室	5月～10月	5回	13人	61人
うどん作り教室	10月	3回	11人	32人
そば打ち教室	11月	3回	11人	31人
料理教室	7月・12月	2回	15人	29人
パソコン教室	8月	4回	6人	24人
三和公民館まつり	11月9・10日	1回	4,000人	4,000人
心の教育実践活動 家族団らん事業	8月3日	1回	34人	34人

7
240



(布遊び教室)



(フラワーアレンジメント教室)



(大正琴教室)



(うどん作り教室)



(そば打ち教室)



(料理教室)

◎子どもわくわく体験講座

実施日	内 容	講 師	受講者数
6月16日(日)	みわこどもまつり	蘆田照代	100人
7月30日(火)	おもしろ科学教室	川北貢司	18人
8月27日(火)	工作教室	蘆田照代	15人

3
133



◎いきいきライフセミナー

実施日	事業内容	講師	受講者数
6月18日(火)	米粉のシフォンケーキ作り	JA 京都丹の国女性部	14人
10月15日(火)	山野草の寄せ植え作り	岡村清、西山武久	15人
11月13日(水)	明智光秀の菩提寺西教寺と琵琶湖博物館	施設職員	22人
12月17日(火)	わら細工作り	西山 正	15人
1月23日(木)	みそ作り	荒木悦子	15人



(米粉のシフォンケーキ作り)



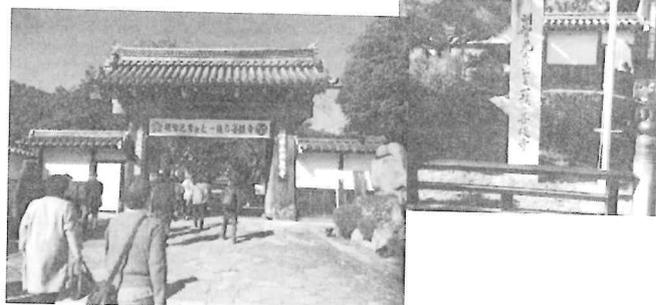
(山野草寄せ植え)



(みそ作り)



(わら細工作り)



(西教寺視察研修)

◎共に幸せを生きるまちづくり人権講座

実施日	学習テーマ	講師	受講者数
6月28日(金) (川合集落センター)	人と人が繋がる コミュニケーション	松尾弥生	31人
2月20日(木) (三和地域公民館)	知ってほしい吃音のこと 吃音を持つ私のこと	講師 越賀美穂 ギター&コーラス 足立大地	人

◎高齢者教室

実施日	内容	講師	受講者数
1月24日・31日 2月21日・28日	ステンドグラス作品作り	高橋裕美	

三和地域公民館運営協議会の活動

◎体育事業活動

(1) 第13回三和地域公民館杯 グラウンド・ゴルフ交流大会

◇開催予定日 令和元年10月19日(土)

◇会場 三和荘 運動広場

※ 雨天のため中止

◎文化事業活動

(1) 三和公民館まつり「2019 三和ふれあいフェスティバル」

◇開催日 令和元年11月9日(土)・10日(日)

◇会場 三和荘周辺

◇来場者数 約4,000名

◇模擬店 ぜんざい(つきたて餅入り)

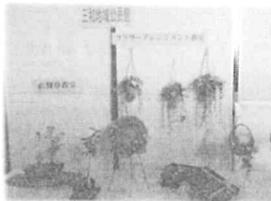
◇作品展示

《菟原地区公民館》 ・活動写真展示 ほか

《細見地区公民館》 ・山野草寄せ植え ・ソーパークーピング
・活動写真展示

《川合地区公民館》 ・活動写真展示

《三和地域公民館》 ・フラワーアレンジメント ・座いす
・山野草寄せ植え ・活動写真展示



◎第11回三和カルタ大会

◇開催日 令和2年1月11日(土)

◇会場 三和地域公民館 ホール

◇参加人数 40名



令和元年度をふりかえって

—— 三和地域公民館 ——

【一般講座・教室】

今年度も福知山市の「社会教育の重点」並びに「公民館活動の重点」に基づき、公民館活動を通じて三和地域の人づくり・地域づくりに貢献できる取り組みの一環として、10の講座・教室を開設し、延べ450人余りの受講を得ることができた。

常に新たな講座開設を目指すなかで、「フラワーアレンジメント」「ステンドグラス」「大正琴」「うどん作り」を開設し、それぞれ三和地域外からも多くの受講者があり、特にフラワーやステンドの講師に地元の若手リーダーを起用することができ、大正琴では教室後にサークルが結成され、合わせてイベントでの演奏活動をされるなど、色々な面で成果があった。

また、三和学園と連携し開設した「パソコン教室」では、学校が機材や施設の提供だけでなく、指導を教諭に生徒が助手を担ってくれたことで、受講者にとって気軽に質問することができ好評であったし、何より生徒と地域の方との良い交流の場となった。

このほか、防災意識の高揚のために身近な取り組みとして地元普及員の指導のもと「救命講習」も年1回の解説が定着している。

【人権教育に関すること】

共に幸せを生きるまちづくり人権講座として、6月には兵庫県生涯学習情報センターの生涯学習アドバイザーである松尾弥生さんに「人と人が繋がるコミュニケーション」と題して講演をいただき、参加者からは「楽しいお話をとてもわかりやすく、心と健康のつながりの大切さが心に響きました。」と感想をいただきました。また、2月には介護職員として勤務しながら啓発活動をされている越賀美穂さんに「知ってほしい吃音のこと、吃音を持つ私のこと」題して講演を行いました。

【心の教育実践活動】

家庭・地域・学校が連携して取り組む「心の教育実践活動」では、小中一貫校「三和学園」の4月開校とともに新たな取り組み実施となった。あいさつ運動では、ほとんどの児童がスクールバスでの通学となり、声を掛ける機会が少なくなるなか、全町の無線放送を活用し、元気な子供の声を地域に響かせて実施することで、継続した運動を展開することができた。

また、「家族だんらんの日」の事業では、夏休みを活用して菟原児童館で、親子でカレーライス作り、ペットボトルロケット飛ばしでふれあいの時を過ごした。

【三和地域公民館運営協議会】

運営協議会主催事業としては、「三和ふれあいフェスティバル」との共催の「公民館まつり」において、公民館講座の活動紹介や、公民館に集うサークルの作品展示や舞台発表が行ったほか、市民憲章啓発コーナーとして模擬店も関係者協力のもと開店した。

また、三和地域において運営協議会の参画団体が年々減少する状況のなか、参画団体である三和地域協議とは「三和子ども祭」や講演会など各種イベントの企画運営面でも連携し、三和学園とは「地域未来塾」を当公民館での開校など、地域内のあらゆる団体組織と今後も大いに連携を強め三和の人づくり、地域づくりに努めていきたいと考えている。

三和地域公民館利用状況

平成31年1月～令和元年12月

月	開館日数	ホール		会議室		和室		創作室		総計		一日平均	
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
1月	28	15	188	20	182	0	0	13	104	48	474	2	17
2月	28	18	232	21	205	2	15	17	147	58	599	2	21
3月	31	18	277	24	191	1	6	13	116	56	590	2	19
4月	30	27	403	13	112	3	19	14	120	57	654	2	22
5月	31	24	355	11	114	0	0	18	182	53	651	2	21
6月	30	21	290	17	153	2	10	23	286	63	739	2	25
7月	31	28	420	9	82	2	6	17	151	56	659	2	21
8月	31	14	168	15	132	6	43	12	106	47	449	2	14
9月	30	18	224	19	118	0	0	19	175	56	517	2	17
10月	31	25	348	23	192	5	26	25	277	78	843	3	27
11月	30	19	290	20	180	1	7	11	92	51	569	2	19
12月	28	18	307	18	153	4	47	12	101	52	608	2	22
計	359	245	3,502	210	1,814	26	179	194	1,857	675	7,352	2	20
月平均	30	20	292	18	151	2	15	16	155	56	613		

1. 令和元年度事業（取組）の重点

絆づくり ～地域づくりの原点は、人と人とのつながり～

1. 活動を通じて人をつなぐ・・・諸団体をつなぐネットワークづくり
2. 課題解決に向けて地域をつなぐ
・・・まちづくりにつながる学習機会の提供、人材育成
3. 文化を通じて心をつなぐ・・・より良い文化の共有
4. 学校を通じて世代をつなぐ・・・夜久野学園と連携した地域づくり

2. 事業の概要および特徴的な事業について

① 新規講座

「バランスボール入門」

（地域内 100%・男性参加率 13.3%・平均満足度 4.6）

当館では今まで取組みがなかった、体を動かす講座。初心者対象で4回実施。短期間で定員になり、出席率も高く、満足度も高い。

→体を動かす講座への希望が多いことがわかった。

「はじめての篆刻」

（地域内 56% 地域外 44%・男性参加率 10%・平均満足度 5.0）

特殊な技能を習得する内容の教室のため、新規の受講生や地域外からの参加者も多かった。さらに、講師の指導力により出席率も高く（全4回を通じて欠席者なし）、満足度も非常に高かった。講座終了後も続けたいと他市の公民館講座に通う人が2名。「入門」としての役割が果たせたと言える。

② 閉校活用による公民館まつり「ふれあいいきいきフェスタ」

平成25年3月に閉校して6年間使われていなかった夜久野地域内の旧3小学校の有効活用を検討するために、昨年4月に「閉校活用検討委員会」が設立。その活動に関連させて、旧明正小学校を会場に「ふれあいいきいきフェスタ(第14回夜久野公民館まつり)」を開催。

「荒れていく廃校舎を何とかしたい」という地域住民の思いを核にすることで、より多くの住民に支えられる催しにしたいと考え、従来よりも早い時期から実行委員会を立ち上げ、「夜久野町連合自治会」「夜久野みらいまちづくり協議会」を始め、地域の諸団体との連携を図りながら創り上げた。

③ 地域の諸団体との協働による「夜久野まちづくり講座」

夜久野における人口減少が顕著になってきた平成22年度から、地域ぐるみで課題を共有し、解決の手がかりを見出すために、先進地事例や理論などを学ぶ「夜久野まちづくり講座」を実施している。

今年度は「夜久野町連合自治会」「夜久野みらいまちづくり協議会」と共催し、「まちづくり講演会」「夜久野のみらいを創る集い」「まちづくり振興大会（2/16 予定）」を実施。

様々な年代が地域のことを「わがこと」としてとらえ、自治意識をはぐくむことができるよう各事業での対象者を意識した。

「夜久野のみらいを創る集い」では、公立大学生、中学生とその保護者などの夜久野地域公民館の他講座では参加が得にくい年代層の参加もねらい、「まちづくり振興大会」では夜久野の全自治会からの参加を意図して取り組んだ。

3. 成果と課題（次年度に向けて）

① 成果

【新規の参加者】

- ・「子ども体験教室」「バランスボール入門」「はじめての篆刻」「やさしいお菓子作り」「夜久野のみらいを創る集い」などで新規の参加者があった。参加対象を意識した企画の大切さを認識した。また、「はじめての篆刻」ではぐくまれる受講生同士の親和感を見るにつけ地域内外や従来からの知人などに関わらず、文化を通じて結び合うことができる「よりよい文化の持つ力」を実感した。

【諸団体との交流】

- ・「ふれあいいいきフェスタ」では、地域の諸団体や自治会関係者との協力関係が深まった。様々な団体で力を合わせて大きな事業が実現できたことは、お互いの信頼関係を深め自治の力もはぐくんだと思われる。

【住民の「やりたいこと」を実現する支援】

- *住民から寄せられる発想を活かすことを通して、企画運営力の向上や公共心をはぐくみたいと考え、このスタンスを大切にしている。
- ・「ふれあいいいきフェスタ」では、関係団体でレイアウトなどの希望を出し合い構成。
- ・「ふるさと講座夜久野学」では、「地元歴史等を持ち寄り語り合う会を持ちたい」との提案を住民より受けた。年度内3月実施をめざし現在企画中。

② 課題

【あらゆる年代へのアプローチ】

- ・保育園保護者世代の参加。

今年度、「みらいを創る集い」に、保育園職員が初参加し好評。来年度は下夜久野保育園との連携をさらに強め、保護者世代の参加を模索したい。

【アンケートの活用】

- ・市立公民館での共通アンケートの実施により、従来の夜久野館のみでのアンケートでは気づけなかった視点を得た。アンケート情報の精度を上げるため、回収率を増やしたい。

【予算の減少】

- ・子年度は前年の40%減で事業運営を行った。今後も減少傾向は進む。少ない予算でも講座を充実させるために工夫する一方、公民館だより・HP 報活動により、公民館活動の重要性をアピールしたい。

夜久野地域域公民館

◎一般事業・講座

事業及び教室・講座名	開設時期	回数	受講者数	受講延人数
子ども体験教室(パン作り)	8月6日	1回	25人	25人
パソコン講習会	7月	2回	12人	24人
健康講座	5月25日	1回	39人	39人
ふるさと講座夜久野学	3月予定	1回	()	()
夜久野まちづくり講座(講演会)	5月26日	1回	86人	86人
夜久野まちづくり講座 (夜久野のみらいを創る集い)	12月7日	1回	75人	75人
夜久野まちづくり講座 (まちづくり振興大会)	2月16日(予定)	1回	()	()
はじめての篆刻	6月～7月	4回	10人	40人
バランスボール入門	4月～5月	4回	15人	51人
男のこだわり料理	4月～11月	3回	18人	28人
男のこだわり料理 (夜久野学園と共催)	11月～12月	2回	18人+児童	42人
やさしいお菓子作り	9月～2月	3回	15人	25+()
音楽サロン(うたごえ喫茶)	7月30日	1回	66人	66人
音楽サロン(名曲喫茶)	3月1日(予定)	1回	()	()
文化祭(共催)	7月6日・7日	1回	約300人	約300人
サマーフェスティバル(共催)	7月27日	1回	約80人	人
きょうと北部演劇まつり(共催)	8月31日	1回	約500人	約500人
ふれあいいいききフェスタ (第14回夜久野公民館まつり)	11月3日	1回	約550人	約550人



〈バランスボール入門〉



〈はじめての篆刻〉



〈パソコン講習会〉



〈子ども体験教室〉



〈男のこだわり料理〉



〈夜久野のみらいを創る集い〉

14
501

◎共に幸せを生きるまちづくり人権講座

実施日	学習テーマ	講師	受講者数
5月25日(土)	レクリエーションで心も体もいきいき	西部保健福祉センター 青木洋子	39人
6月1日(土)	悪徳商法から暮らしを守る	福知山市消費生活センター	43人
11月22日(金)	【中学生と学ぶ人権講演会】 グローバルマナーとおもてなしの心	江上いずみ	115人

◎人権公演会（トーク&コンサート）

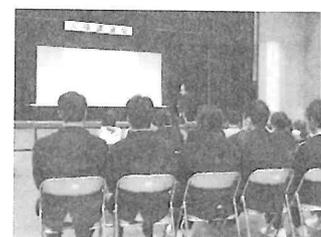
実施日	事業内容	講師	受講者数
11月3日(日)	夢へのチャレンジ ～自分の可能性を信じる～	儀間太久実	約200人



〈レクリエーションで
心も体もいきいき〉



〈悪徳商法が暮らしを守る〉



〈グローバルマナーと
おもてなしの心〉



〈トーク&コンサート〉
夢へのチャレンジ
～自分の可能性を信じる～

運営協議会の活動

(1) ふれあいいきいきフェスタ(第14回夜久野公民館まつり)

☆開催日 令和元年11月3日(日)

☆会場 旧明正小学校

☆参加者 約550名

☆内容 閉校舎を活用し、文化・教育・人権・福祉・健康・環境・まちづくりをテーマに、夜久野地域住民が学びとふれあいを通して連帯感を深め、豊かな地域づくりに寄与することを目的に実施。

【トーク&コンサート】 夢へのチャレンジ～自分の可能性を信じる～

講師:儀間太久実(口笛奏者)

【校舎内】 作品展示、活動紹介、健康コーナー、まちづくりコーナー、おはなしの部屋、あそび・手作りコーナー、茶席、バザー

【体育館】 舞台発表、心の教育実践発表、「なつかしい校歌を歌おうタイム」、防犯啓発

【中庭】 模擬店、交通安全啓発、防犯啓発、夜久野の食文化コーナー、屋外発表、全員踊り



中庭での和太鼓演奏



舞台発表



トーク&コンサート

(2) サマーフェスティバル

☆開催日 令和元年7月27日(土)

☆会場 夜久野学園、農業者トレーニングセンター

☆参加者 約80名

☆内容 お菓子作り、川遊び(雨天のために屋内でスポーツ交流)

(3) 音楽サロン

①うたごえ喫茶

☆開催日 令和元年7月30日(火)

☆会場 夜久野ふれあいプラザ ホール

☆参加者 66人

☆内容 歌唱・歌遊び等による参加者交流、健康食試食

②名曲喫茶

☆開催日 令和2年3月1日(予定)

☆会場 夜久野ふれあいプラザ ホール

☆参加者 ()人

☆内容 管弦楽(MAF 管弦楽団)の鑑賞、健康食試食

〈うたごえ喫茶〉





絆づくり ～地域づくりの原点は、人と人とのつながり～
をテーマに、下記の重点事項を柱に事業を実施した。

1. 活動を通じて人をつなぐ・・・諸団体をつなぐネットワークづくり
2. 課題解決に向けて地域をつなぐ・・・まちづくりにつながる学習機会の提供、人材育成
3. 文化を通じて心をつなぐ・・・より良い文化の共有
4. 学校を通じて世代をつなぐ・・・夜久野学園と連携した地域づくり

【一般講座・教室・その他の事業】

① 活動を通じて人をつなぐ

本年は、「ふれあいいきいきフェスタ(夜久野公民館まつり)」を、閉校した旧明正小学校で開催したことにより、「夜久野町連合自治会」を始め地域の諸団体との協働の機会が増えた。住民や諸団体が、地域の環境美化について考え、共に作業したり校舎の活用について考え合ったりすることを通して、同じ地域で同じ歴史や文化を共有している仲間であることを実感し、力を合わせて催しを成功させたことは、大きな成果である。

② 課題解決に向けて地域をつなぐ

「夜久野町連合自治会」「夜久野みらいまちづくり協議会」と共催し、「まちづくり講座」として、「講演会」「夜久野のみらいを創る集い」「まちづくり振興大会(2/16 予定)」を実施。学習、意見交流、親睦などを多様に展開した。

「夜久野のみらいを創る集い」では、会場を夜久野学園にすることで、発表する中学生の保護者の参加を増やし、多世代の交流が図れた。

「まちづくり振興大会」では、自治会からの参加者を多く募り、日々の暮らしに根付く地域づくりについて意見を交換し合うよう企画を進めている。

③ 文化を通じて心をつなぐ

新規に「はじめての篆刻」「バランスボール入門」を実施。初心者を対象に、少ない回数でも本質を理解し基本が身につくように、講師がきめ細やかな指導計画にもとづき、質の高い指導をされたことで、大変充実した講座となった。出席率も高く受講生同士の交流も深まった。

昨年に引き続き、「きょうと北部演劇まつり」の実行委員会に加わり共催した。狂言やプロの演劇を間近で鑑賞できる機会を提供できた。

④ 学校を通じて世代をつなぐ

「パソコン講習会」においては中学生に指導補助をお世話になり、「男のこだわり料理教室」は受講生が5・6年生の調理実習に参加、「夜久野の未来を創る集い」では8年生が発表と意見交流に参加。いずれも準備段階の打ち合わせも含めて、夜久野学園と連携を深めてきた。

【人権啓発の講座】

福知山市消費生活センターを招き、「悪徳商法から暮らしを守る」を開催。各自治会の人権教育推進委員、地区代表自治会長、ボランティア団体、一般参加者などが、高齢者の人権を脅かす悪徳商法から身を守る手立てや「消費者の権利」などについて学んだ。

「中学生と学ぶ人権講座」では、元キャビンアテンダントの江上いずみさんによる講演で、日常生活に「おもいやりの心」を生かす大切さと実践方法について、夜久野学園児童生徒と地域住民が一緒に学んだ。

【心の教育実践活動】

保育園から中学校まで、地域住民との交流による体験活動が発達段階に応じて取り組まれている。「サマーフェスティバル」では、保護者が中心となって民生児童委員や公民館とともに、夏休みならではの体験活動をサポートしている。

あいさつ運動は、「あいさつ先手運動」として、大人も子どもも自分からあいさつする取り組みを4年前から展開。少しずつ定着してきている。

令和元年度 第2回市立公民館運営審議会（2/20）資料

大江地域公民館

1 令和元年度事業（取組）の重点について

令和元年度「活動の重点」

- 1)地域内4館（3館休館）と連携を図り、地域活動、生涯学習の活性化を図る。
- 2)地域内の伝統文化、地域文化並びに地域スポーツの振興に努める。
- 3)地域住民のニーズに応える生涯学習の推進。

上記の「活動の重点」を基に公民館一般講座並びに運営協議会事業を展開する。

2 事業の概要及び特徴的な事業について

1)地域と結びついた事業

- | | |
|----------------|-------------------|
| ①自然観察会（春・秋） | ②ふるさと講座「大江の歴史探訪」 |
| ③弓道教室（大江高校と連携） | ④和紙灯籠作り教室（丹後和紙活用） |
| ⑤まゆ工芸教室 | |

2)青少年の健全育成に結びついた事業

- ①「心の教育」実践活動（大江ブロック心の教育実践活動実行委員会）

3)健康・生甲斐に関する事業

【公民館一般講座】

- | | | |
|---------------|-------------|------------|
| ①ノルディックウォーク教室 | ②手軽に時短料理 | ③チェアヨガ教室 |
| ④アロマワックスパー | ⑤多肉植物寄せ植え教室 | ⑥終活（初心者向け） |
| ⑦プリザーブドフラワー | ⑧レザーポーチ作り | ⑨アイシングクッキー |
| ⑩かわいいパン作り | ⑪おいしい味噌作り | ⑫おもしろ文字・習字 |
| ⑬高齢者いきいき講座 | ⑭藍染教室 | |

【運協主催事業】

- | | | |
|-------------|--------------|---------|
| ①グラウンドゴルフ大会 | ②公民館対抗卓球大会 | ③囲碁交流大会 |
| ④囲碁教室 | ⑤ビーチボールバレー大会 | |

【心の教育実践活動の推進】

市民憲章のテーマ「幸せを生きる」の具現化を目指し、地域の子どもたちの健全な育成を願って、家庭・地域社会・学校が相互に連携を図り、家庭・地域社会・学校がそれぞれに役割を明確にし「思いやり・忍耐強さ」など「心」を育てる実践活動を推進する。とりわけ学校・家庭の連携として、大江地区の小中学校で毎月「家族だんらんの日」に各家庭に「お楽しみ券」を配布して家族の絆を深める。

【人権教育の推進】

佐々井飛史文さんを講師に招き「人権教育」の推進を図る。（8/23）

3 成果と課題（次年度に向けて）

(1) 一般講座関係

大江地域公民館では、令和元年度「活動の重点」をもとに生涯学習講座として 19 講座並びに運営協議会事業 5 事業を開催することができた。

- (1) 地域に結びついて事業では、地域に係わる自然（大江山国定公園、歴史的
自然環境保全地域）伝統産業（丹後和紙）大江の歴史や大江高校と連携した事
業を展開してきた。講座によっては参加者が減少傾向となってきたが、
参加していただいた方々に大江の自然や歴史、伝統産業等を知っていただく
よい機会になったと感じている。

この事業での受講者数 92 人、地区内受講者は 10 人で全体の 10.8%

- (2)健康、生甲斐に関する事業では、14 講座 29 回の教室を計画し多くの方に受
講いただいた。参加延べ数は 244 人で、地区内受講者は 72 人と少なく全体の
29.5%であった。一般講座の延べ受講者数は 336 人で、地区内受講者は 82 人
で全体の 24.4%。男性の受講者は延べ 50 人で全体の 14.8%であった。次年
度は地域の方や男性の方にも多数参加していただけるように取り組んでいき
たいと考えている。

(2) 「心の教育」実践活動関係

青少年の育成に結びついた事業では、地域の子どもたちの健全な育成を願っ
て、家庭・地域・学校が相互に連携を図り、それぞれが役割を明確にし「心
を育てる」実践活動を推進してきました。毎月の「家族だんらんの日」には
各家庭で「お楽しみ券」を配布して家族の絆を深める取り組みをしていま
す。家族に感謝の気持ちを込めて、家族の一員として自分でできることを書
いて渡します。「親の大変さがわかったし親の喜ぶ顔が見たい」と感想を書い
ている生徒もありました。実践活動発表会は実施しておりませんが、各校が
独自の取組を展開し、児童生徒の「心を育む」活動ができたのではないかと
感じている。

(3) 運営協議会関係

令和元年度は、体育的事業 3 事業、文化的事業 3 事業の 6 事業を計画・実施
した。計画した事業には多くの方々にご参加いただき、公民館の交流や参加
者相互の親睦を深めることができ、公民館の果たすべき役割の一旦を担うこ
とができたのではないかと感じている。

(4) 人権講座関係

8 月に大江町総合会館において人権講座を開催し、50 人の参加をいただき
「人権」について熱心に取り組むことができた。

大 江 地 域 公 民 館

◎一般講座・事業

事業及び教室・講座名	開設時期	回数	受講者数	受講延べ人数
自 然 観 察 会	5 月 ・ 10月 中止	2 回	9 人	9 人
ノルディックウォーク教室	5月26日	1 回	7 人	7 人
大江の歴史探訪講座	5 月 ・ 11月 中止	2 回	6 人	6 人
レザーパーチ作り	6月 2日	1 回	11 人	11 人
チェアヨガ教室	6月29日	1 回	15 人	15 人
プリザーブドフラワー	6 月 ・ 11月	4 回	5 人	22 人
弓 道 教 室	6 月 ～ 7 月	5 回	13 人	68 人
終 活	7月27日	1 回	16 人	16 人
高齢者いきいき講座	7 月 ・ 11月	2 回	24 人	45 人
まゆ（繭）工芸	8月17日	1 回	4 人	4 人
アロマワックスバー	8月10日	1 回	10 人	10 人
藍 染 め 教 室	9月 1日	1 回	8 人	8 人
和 紙 灯 籠 作 り	10月11日	1 回	5 人	5 人
おもしろ文字講座	10月 ・ 11月	2 回	4 人	7 人
手軽に時短料理	10月 ・ 12月	2 回	9 人	17 人
かわいいパン作り	10月 ・ 11月	2 回	6 人	12 人
多肉植物寄せ植え講座	10月～12月	3 回	14 人	39 人
アイシングクッキー	10月 ・ 12月	2 回	14 人	23 人
おいしい味噌作り講座	1月25日	1 回	12 人	12 人
公 民 館 ま つ り	11月24日	—	—	250 人

19
326

◎共に幸せを生きるまちづくり人権講座

実施日	学習テーマ	講師	受講者数
8月23日(金)	「ありのままの自分で生きる」	佐々井飛史	50人



◎ 一般講座 講座風景



多肉植物寄せ植え鉢



春の自然観察会



大江の歴史探訪



弓道



和紙灯籠



時短料理



かわいいパン作り



藍染め



チェアヨガ



おもしろ文字



アロマワックスパー



アイシングクッキー



高齢者学級



ノルディックウォーク



おいしい味噌づくり

大江地域公民館運営協議会の活動

◎ 第8回 親睦グラウンドゴルフ大会

- ★ 日 時 令和元年11月10日(日)
- ★ 場 所 河東グラウンド
- ★ 参加数 63名



◎ 公民館まつり「みんなのフェスティバル」

- ★ 開催日 令和元年11月24日(日)
- ★ 会 場 大江町総合会館
- ★ 内 容 ステージ発表の部・展示の部
- ★ 来場者数 250名
- ★ 発表者数 9団体(55名)



◎ 第3回 ビーチボールバレー交流大会

- ★ 日 時 令和元年12月8日(日)
- ★ 場 所 大江地域公民館体育ホール
- ★ 参加数 22名 (5チーム)



◎ 囲碁教室

- ★ 日 時 令和2年1月18日・25日(土)
2月1日・8日・16日(土)
- ★ 場 所 大江地域公民館大広間
- ★ 参加数 7名



◎ 第12回 大江地域公民館対抗卓球大会

- ★ 日 時 令和2年2月16日(日)
- ★ 場 所 大江地域公民館体育ホール
- ★ 参加数 名(参加チーム7)

◎ 第7回 大江地域公民館囲碁大会

- ★ 日 時 令和2年2月16日(日)
- ★ 場 所 大江地域公民館大広間
- ★ 参加数 名

令和元年度をふりかえって

—大江地域公民館—

【一般講座・教室】

令和元年度の「活動の重点」1) 地内公民館と連携を図り、地域活動、生涯学習の活性化をはかる。2) 地域内の伝統文化、地域文化並びに地域スポーツの振興に努める。3) 地域住民の学習ニーズに応える生涯学習の推進を基に生涯学習講座として 19 講座を開設した。講座数は昨年より 1 講座増で新規講座は 1 講座であった。継続講座も人気講座ではあるが入れ替える時期に来ていると感じている。

事業内容は、「自然観察会(春)(秋)」「ノルディックウォーク」「大江の歴史探訪」「レザーポーチ作り」「チェアヨガ教室」「プリザーブドフラワー」「弓道教室」「終活」「高齢者いきいき講座」「まゆ(繭)工芸教室」「アロマワックスバー」「藍染め教室」「和紙灯籠作り」「おもしろ文字講座」「新規 手軽に時短料理教室」「かわいいパン作り教室」「多肉植物寄せ植え鉢講座」「アイシングクッキー」「おいしい味噌作り講座」の 19 講座で、延べ受講人数は 323 名であった。台風による広域避難所の開設、また、講師の都合により「秋の自然観察会」と「大江の歴史探訪」を中止とした。

【心の教育実践活動】

市民憲章のテーマ「幸せを生きる」の具現化を目指し、地域の子どもたちの健全な育成を願って、家庭・地域社会・学校が相互に連携を図り、家庭・地域社会・学校がそれぞれに役割を明確にし「思いやり・忍耐強さ」など心を育てる実践活動を推進した。とりわけ、学校・家庭の連携として、大江地区の小中学校では毎月「家族だんらんの日」に各家庭で「お楽しみ券」を配布して家族の絆を深めることができた。実践活動発表会は実施していないが、各小・中学校ごとに独自の取組みを展開していただき、児童生徒の心を育む活動が展開できたのではないかと感じている。

「あいさつ運動」は各学校実施日が異なるが、各種団体の協力のもと実施され児童生徒に「あいさつ」の大切さを教えるよい機会となった。

【人権教育に関すること】

本年度の「共に幸せを生きるまちづくり人権講座」は 8 月 23 日雲原在住の 佐々井飛史さん を招き「ありのままの自分で生きる」と題して実施した。

【運営協議会】

令和元年度事業として、体育事業の「親睦グラウンドゴルフ大会」「公民館対抗卓球大会」「ビーチボールバレー交流大会」と文化事業の「囲碁交流会」「囲碁教室」の 5 事業を計画し実施した。計画した事業には多くの方々の参加を得、公民館の交流や参加者相互の親睦を深めることができ、公民館の果たすべき役割の一旦を担うことができたのではないかと実感している。

平成 18 年の合併当時、大江町内には 7 つの公民館があった。館長、主事のなり手が無いという理由で、平成 21 年に俊明地区公民館、平成 24 年に物成地区公民館が休館・廃館となった。さらに平成 31 年（令和元年）地区の事情により河西公民館が休館となり 4 公民館になってしまった。今後、館長、主事のなり手がなく休館に追い込まれる地区が出てくるのではないかと危惧している。

令和1年 大江地域公民館利用状況

月	開館 日数	体育ホール		大広間		和室1		和室2		和室1・2		調理室		総計		1日平均	
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
1月	23	9	108	12	84	2	9	0	0	9	87	9	93	41	381	0.0	16.6
2月	23	16	234	22	219	4	60	1	2	3	44	7	73	53	632	0.0	27.5
3月	26	18	473	20	315	0	0	1	10	4	34	3	15	46	847	0.0	32.6
4月	23	12	165	11	118	1	4	0	0	0	0	4	23	28	310	1.2	13.5
5月	23	16	285	13	120	0	0	0	0	0	0	4	27	33	432	1.4	18.8
6月	26	20	331	17	268	0	0	1	5	2	17	7	58	47	679	1.8	26.1
7月	25	13	166	23	278	2	16	0	0	0	0	4	41	42	501	1.7	20.0
8月	26	12	149	14	122	1	6	0	0	0	0	4	19	31	296	1.2	11.4
9月	23	16	382	20	188	3	20	1	5	1	3	4	38	45	636	2.0	27.7
10月	25	17	250	19	245	0	0	0	0	2	13	7	72	45	580	1.8	23.2
11月	24	21	373	19	348	3	21	4	24	4	42	9	146	60	954	2.5	39.8
12月	21	11	289	9	128	3	14	1	15	0	0	2	16	26	462	1.2	22.0
計	288	181	3205	199	2433	19	150	9	61	25	240	64	621	497	6710	1.7	23.3
月平均	24	15.1	267.1	16.6	202.8	1.6	12.5	0.8	5.1	2.1	20.0	5.3	51.8	41.4	559.2		

- 1 令和元年度事業（取組）の重点
 - （1）教室・講座運営の推進
 - （2）桃映コミセン運営協議会事業の推進
 - （3）人権教育の推進
 - （4）「心の教育」実践活動の推進
 - （5）地域未来塾との連携

- 2 事業の概要及び特徴的な事業について

- （1）教室・講座について

18講座中、11講座を新たに設け女性から小学生まで幅広い年齢層の受講者を得ることができました。また、18講座中6講座を庵我・大正の地区公民館との共催事業として実施し、地区公民館との相互協力によって地域力の向上と地元講師の人材発掘に力を入れました。特に「特大書道教室」は大正地区公民館発案の大変ユニークな取組で、今年で5年目を迎えます。大きな紙に力一杯筆を振る子どもたちの姿は真剣そのものでした。

また、今年初めて開催した「子ども工作教室」は兄弟関係も考慮して、同時に低学年と高学年の課題を提供しました。参加した親子は「物づくり」の楽しさ・難しさ、出来上がりの喜びを感じていただけました。この教室の講師は地元庵我の工務店さんにご依頼し材料の仕入れから準備万端お世話になり、子ども目線での親切丁寧なご指導は大変好評でした。この取組を他の講座にも広げ、地元の人材発掘と人材育成につなげていければ、と考えています。

- 3 成果と課題（次年度に向けて）

平成29年7月に新たに設立して以来、まだ2ヶ年が過ぎたばかりですので、まだまだ庵我・大正両地区の皆様方に広く認識していただく所までに至っていません。特に施設的には体育館しか在りませんので教室や講座は他の施設をお借りしての間借り開催です。

しかし、このことが逆に庵我地区でも大正地区でも開催できる強みと考え、同じ講座を両方の地区で開催することで地域公民館の恩恵を受けていただきたい、と考えています。ちなみに、今年度は庵我会館をお借りした教室・講座を5回開催し、地元の方はもちろん市内各所から庵我会館へ来ていただき、庵我歴史講座には大正地区からも多くの参加がありました。

運営協議会事業はグラウンドゴルフ大会・囲碁将棋大会・ふれあいフリーマーケット等「庵我・大正地区の皆さんが交流できる場の提供」を目的に実施しました。体育館だからできるメリットを工夫し、更に多くの「地域の皆さんが集える場」を年間通じて提供していきたいと考えます。

人権啓発活動は「堀会館」との共催事業でしたが、今後は「庵我教育集会所」との共催事業もお願いし、大正・庵我ともに地区内での人権啓発活動に取り組む考えです。

「心の教育」実践活動については幹事館として企画立案しなければなりません、まだ十分にはできていません。次年度は各学校・地区公民館と協議しながら体育館での全体行事を検討したく考えています。

地域未来塾を「心の教育」の一分野と位置付け、地元の「指導員」さんや中学生との連携を模索し、中学生の将来・未来に希望や夢の持てる事業展開ができれば、と考えます。

桃 映 地 域 公 民 館

◎一般事業・講座

2020年1月10日現在

事業及び教室・講座名	開設時期	回 数	受講者数	受講延人員
☑ 木目込み教室(大正)	4月26日	1	12人	12人
☑ プリザーブドフラワー教室(大正)	4月27日	1	14人	14
小 中 学 生 将 棋 教 室	5月～6月	3	8	24
☑ 大 正 歴 史 講 座	5月26日	1	18	18
庵 我 歴 史 講 座	6月8日	1	55	55
キ ン ボ ー ル 教 室	7月6日	1	3	3
☑ 子 ども 工 作 教 室 (庵 我)	7月28日	1	11	11
☑ 子 ども 工 作 教 室 (大 正)	8月17日	1	18	18
特 大 書 道 教 室 (大 正)	7月21日	1	30	30
特 大 書 道 教 室 (庵 我)	8月25日	1	16	16
☑ 卓 球 バ レ ー 教 室	9月1日	1	5	5
☑ そ ば 打 ち 教 室	11月～1 2月	3	8	24
世 代 交 流 グ ラ ウ ン ド ゴ ル フ 教 室	10月27 日	1	60	60
☑ お 正 月 飾 り 教 室 (庵 我)	11月24 日	1	15	15
☑ ハ ー バ リ ウ ム 教 室 (大 正)	12月7日	1	15	15
音 楽 鑑 賞 教 室	12月13 日	1	200	200
☑ 木 目 込 み 教 室 (庵 我)	2月7日	1	10	—
☑ アイシングクッキー教室	2月10日	1	10	—
共 に 幸 せ を 生 き る 人 権 講 座 第 1 回	11月21 日	1	60	60
共 に 幸 せ を 生 き る 人 権 講 座 第 2 回	2月12日	1	—	—

18

◎一般事業・講座の記録写真



〈木目込み教室〉



〈プリザーブドフラワー教室〉



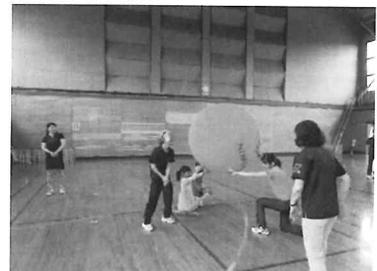
〈子ども将棋教室〉



〈大正地区歴史探訪〉



〈庵我歴史探訪〉



〈キンボール体験教室〉



〈夏休み子ども工作教室 庵我・大正〉



〈卓球バレー教室〉



〈特大書道教室 大正・庵我〉



〈そば打ち教室〉



〈お正月リース教室〉



〈音楽鑑賞教室〉



〈ハーバリウム教室〉

◎共に幸せを生きるまちづくり人権講座

月日／場所	学習テーマ	講師	受講者数
11月21日(木) 堀会館	『コミュニケーションが笑顔をつなぐ』 ～みんなの心とからだを健康に～	栗木 剛さん Mott ひょうご事務局 局長	60人
2月12日(水) 堀会館	『このまちが好きだから』 ～被差別の歴史をもつ地域に生まれて～	藤尾 まさよさん 崇仁発信実行委 員会代表	—

◎同好会・クラブ活動

クラブ・同好会名		期 間	期 日	会員数
体 育 館	でんでん虫クラブ①(ソフトテニス)	4月～3月	毎週 金曜	7
	でんでん虫クラブ② (ソフトテニス)	4月～3月	毎週 日曜	10
	卓 球 ク ラ ブ ① (卓 球)	4月～3月	毎週 水曜	10
	卓 球 ク ラ ブ ② (卓 球)	4月～3月	毎週 木曜	2
	A I T A (卓 球)	4月～3月	毎週 水曜	4
	秋 桜 (卓 球)	4月～3月	毎週 水曜	7
	卓 親 会 (卓 球)	4月～3月	毎週 土曜	16
	スワンズ(ビーチボールバレー)	4月～3月	毎週 木曜	12
	B L O O M(ビーチボールバレー)	4月～3月	毎週 水曜	7
	ひまわり(ビーチボールバレー)	4月～3月	毎週 月曜	8
	さくらクラブ(ビーチボールバレー)	4月～3月	毎週 土曜	12
	レーズン(ビーチボールバレー)	4月～3月	毎週 土曜	8
	ぴーまん(ソフトバレーボール)	4月～3月	毎週 金曜	11
	もみじヶ丘 S V クラ ブ	4月～3月	毎週 日曜	9
	バドミントン愛好会	4月～3月	毎週 土曜	15
	木葉クラブ(バドミントン)	4月～3月	毎週 木曜	14
	U T C 桃 映 (バドミントン)	4月～3月	毎週 水曜	15
	日 本 空 手 道 山 桜 会	4月～3月	毎週 水曜	15
	濤 心 塾 (空 手)	4月～3月	毎週 金曜	11
	小桜剣道スポーツ少年団	4月～3月	毎週 月曜	18
	なぎなたクラブ	4月～3月	毎週 木曜	7
	フライングディスク同好会	4月～3月	毎週 月曜	17
	キ ッ ズ 体 操	4月～3月	毎週 水曜	9
チ ア ダ ン ス	11月～3月	毎週 木曜	13	

桃映地域公民館運営協議会の活動

◎ 体育事業活動

(1) 「第3回 桃映コミセン設立記念
グラウンドゴルフ大会」

☆開催日 令和元年6月16日(日)
午前9時00分～午前11時00分

☆会場 福知山公立大学 グラウンド

☆参加人員 80名 (内 役員19名)
大正地区45名・庵我地区16名

☆競技方法 男女別個人戦

☆成績 男子の部
優勝… 足立 亘さん
準優勝… 赤穂 寿久さん
3位… 和久 一功さん
男子の部 女子の部
優勝… 和久 久代さん
準優勝… 横山 末子さん
3位… 塩見 節子さん



◎ 交流事業活動

(1) 「第2回 桃映コミセン 囲碁・将棋大会」

☆開催日 令和元6月29日(土) 午前9時00分～午後4時00分

☆会場 大正文化センター(会議室)

☆参加人員 22名 (内 囲碁10名、将棋4名、役員8名)

「囲碁」 級別 個人戦 成績

A級 優勝…渡邊 継雄さん、準優勝…織田 史郎さん、3位…岡田 知さん

B級 優勝…平田 好明さん、準優勝…中村 武生さん、3位…塩見 裕司さん

「将棋」 小中学生 個人戦 成績

優勝…足立 光希さん、準優勝…大西 泉綺さん、3位…橋本 さくらさん



(2) 「第1回 桃映コミセンふれあい

フリーマーケット」

☆開催日 令和元年11月10日(日)
午前10時00分～午後0時

☆会場 桃映コミセン 体育館

☆参加人員 120名





【一般教室】

今年度の教室・講座運営の重点は教室・講座の推進でした。

開設3年目となった本年は昨年度に比べ下記のように教室・講座の開催が出来ました。

年 度	講座・教室数	実施回数	受講者数	受講延人数	未実施
H 30年度	11	23	519	612	0
R 元年度	18	23	524	536	2
新規講座	11	13	142	138	2

【成果】

◎新規講座では「木目込み・アートフラワー・クッキー等」の講座を加え、今までに無かった新しい内容で新鮮さを取り入れることが出来たと思う。また年間を通じて開設するよう2月まで講座を設け、新しい方に受講していただきました。

親子での教室は新たに「子ども工作教室」を開催し、親子での物づくり体験に、地域の方の講師で準備万端お世話になり、子ども目線での親切丁寧な指導に大変好評でした。

全般的に全ての講座でほぼ定員を満了す応募で、盛況の内に終わることが出来ました。

【課題】

◎今後の課題としては、新しい講座の開催に伴う講師の確保、及び偏りのない講座提供と地元講師人材の発掘があげられると思います。

更に、今年度スポーツ系の講座が少なかったため、この分野を補強し健康増進講座の充実が必要と考えます。また、「オリパラ」の年でもあるのでパラリンピックスポーツの紹介とこれに親しんでもらう講座提供を検討します。

【人権啓発活動】

【成果】

◎「共に幸せを生きるまちづくり人権講座」として二回の講座を堀会館との共催事業として開催、テーマは「コミュニケーションが笑顔をつなぐ」と「このまちが好きだから」でした。前者は～みんなの心とからだを健康に～講師のわかりやすい話の内容で、「人の立場を想像すること、先入観を持たないこと、地域の人とのコミュニケーションの大切さが理解できました」また後者は～被差別の歴史をもつ地域に生まれて～京都市崇仁地区の過去と現在、未来を語っていただき、人と人との心地よいつながりを応援する地域活動の在り方を教えていただきます。

【課題】

◎堀会館との共催事業であり、桃映地域公民館独自の取組としての人権啓発事業を企画していかなければ、と考えます。

◎庵我地区公民館並びに庵我教育集会所との共催事業としての「人権講座を」推進する必要があると考えます。

【心の教育実践活動】

【成果】

◎大正小・庵我小・桃映中の活動は毎月の「あいさつ運動」、学期に1回の「家族だんらんの日」の「おもてなし券」「おてつだい券」による“親子ふれあい”の取組が出来ました。また、各地区公民館ではそれぞれの公民館祭りでの児童発表や交流の場が設けられ、桃映中学校吹奏楽部による演奏や中学生ボランティアによる運営補助が地域の方々への喜びと小学生への「あこがれ」を与える良い機会となっています。

【課題】

◎大正小・庵我小・桃映中の取組を総括する形での「桃映コミセン」での実践活動を地区公民館のご協力を得ながら企画していきたいと考えています。

【全般的な成果と課題】

平成29年7月に発足して以来、実質的に2ヶ年度を経過したのみですが今年度は講座数及び種目の拡大と幅広い年齢層での実施ができました。次年度も各地区公民館との共済事業を大切に、更に工夫した講座の展開が必要と考えます。

運営協議会事業の取組はグラウンドゴルフ大会・囲碁将棋大会・ふれあいフリーマーケット等、「地域の皆さんが交流できる場の提供」を主眼に実施しました。次年度も様々な事業を企画し、更に多くの「地域の皆様が集える場」を年間を通じて提供していきたいと考えています。

平成31年 桃映地域公民館（体育館）利用状況

平成 31年	開館 日数	体 育 館										総合計	1日 平均	昨年 実績	対前 年比														
		バレーボール	ビーチボール	バドミントン	卓球	ソフトバレー	空手道	剣道	ソフトテニス	フライング	なぎなた					バスケット	その他												
1月	23	0	0	15	86	11	82	18	92	5	32	7	75	4	109	6	36	2	10	3	14	0	0	2	6	73	542	23.6	
2月	23	0	0	15	116	12	84	19	94	8	64	8	79	3	84	8	45	3	20	4	13	0	0	1	2	81	601	26.1	
3月	26	0	0	18	123	13	105	22	117	8	63	8	75	4	142	10	73	4	34	2	13	0	0	1	4	90	749	28.8	
4月	24	0	0	19	125	12	91	22	111	7	55	8	84	4	98	7	42	4	26	4	13	0	0	3	26	90	671	28.0	
5月	21	0	0	17	103	11	99	20	100	7	52	8	95	0	92	5	30	3	25	4	13	0	0	3	105	78	714	34.0	
6月	26	2	43	21	159	12	114	25	126	8	58	8	76	0	103	6	33	3	24	2	6	0	0	8	100	95	842	32.4	
7月	25	0	0	19	174	12	116	25	119	7	49	7	77	0	115	6	27	4	35	4	22	2	13	16	309	102	1056	42.2	
8月	25	0	0	15	108	13	108	16	78	8	56	5	71	0	75	6	27	3	20	3	12	0	0	10	90	79	645	25.8	
9月	24	0	0	19	129	12	90	24	113	8	66	7	91	0	81	8	35	3	38	3	10	1	2	11	95	96	750	31.3	
10月	25	0	0	20	127	13	103	21	84	7	55	8	114	0	71	6	25	3	19	4	14	0	0	11	98	93	710	28.4	
11月	23	0	0	17	99	12	102	18	88	8	67	9	121	0	65	6	30	3	31	4	14	1	5	15	121	93	743	32.3	
12月	23	0	0	16	75	11	74	19	85	7	65	7	101	5	112	5	28	4	31	2	8	1	4	12	116	89	699	30.4	
合計	288	2	43	211	1424	144	1168	249	1207	88	682	90	1059	20	1147	79	431	39	313	39	152	5	24	93	1072	1059	8722	30.3	
月平均	24	0.2	3.6	18	119	12	97	21	101	7.3	57	7.5	88	1.7	96	6.6	36	3.3	26	3.3	13	0.4	2	7.8	89	88	727	30.3	

福知山市公民館運営審議会委員の公募について

福知山市教育委員会事務局中央公民館

社会教育法第29条及び福知山市立公民館条例第3条第2項に基づく福知山市公民館運営審議会委員について、広く市民の皆様から御意見をいただくため、市民公募委員を下記のとおり募集します。

記

- 1 募集人数 2人以内（公募の委員を含めた委員総数は20人以内）
- 2 任 期 委嘱の日～令和4年委嘱の月日の前日
- 3 開催回数 年2回程度（1回の会議時間は、平日の午前 2時間程度）
- 4 検討事項 福知山市の公民館における各種の事業の企画実施について調査審議
- 5 委員謝礼 会議の出席ごとに、委員報酬8,000円をお支払いします。
- 6 応募条件
 - (1) 福知山市内に居住又は通勤、通学される、令和2年4月1日現在で満18歳以上の人
 - (2) 本市における公民館活動の推進に理解と関心を持ち、会議に出席して積極的な発言をしていただける人
 - (3) 年2回程度開催する会議に出席できる人
 - (4) 本市の他の審議会等に4つ以上、委員として在籍していない人
 - (5) 学校教育及び社会教育の関係者、公民館活動、家庭教育の向上に資する活動を経験のある人もしくは学識経験のある人
- 7 応募方法

応募申込書に必要事項を記入のうえ、小論文（「公民館・家庭・地域・学校など子育てや教育に関することや家族だんらんの日、社会教育や生涯学習に関すること」800字程度）を添えて、下記の応募先までお持ちいただくか、郵送（当日消印有効）、FAX 又はEメールで御応募ください。（応募書類は返却いたしません。）
- 8 応募期間
令和2年5月 日（ ）まで
- 9 選考方法
提出された書類をもとに選考を行います。選考の結果該当者無しとする場合もあります。
- 10 選考結果の通知
選考結果は、郵送により応募者全員に通知します。
- 11 応募申込書
福知山市教育委員会事務局中央公民館（市民交流プラザふくちやま3階）に置いています。
福知山市ホームページからのダウンロードもできます。
- 12 応募先及び問い合わせ先
〒620-0045 福知山市駅前町400番地 福知山市教育委員会事務局中央公民館
電話番号：0773-22-9551 FAX：0773-45-8501
E-mail: chukou@city.fukuchiyama.lg.jp